

成田空港活用協議会 第2期

5年間の歩み

(平成30年度～令和4年度)

令和5年5月

目 次

1	事業期間延長の経緯	1
2	組織概要	3
3	組織図	3
4	役員	4
5	幹事	4
6	会員企業・団体一覧	5
7	事業の柱と6つの事業テーマ	7
8	協議会のプラットフォーム機能	8
9	活動年表	9
10	メディア露出	16
11	事業実施状況	18
12	事業概要	
①	空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業	
1-1	圏央道全線開通等を見据えた企業誘致に向けた取組	22
②	成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業	
2-1	アジア経済圏におけるマーケティング	25
2-2	アクティビティ（体験型）商品開発	26
2-3	航空／空港関連企業との商談会	28
2-4	ランドオペレーターとの商談会	31
2-5	千葉県観光商談会（北海道）	33
2-6	CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進	34
2-7	訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト	35
2-8	脱炭素社会推進支援事業	38
③	県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業	
3-1	日本遺産等を活用した誘客促進	39
3-2	地方創生と連動したDMO養成塾	41
3-3	日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客	45
3-4	成田空港・周辺地域と連携したワーケーション・テレワーク推進事業	47
④	東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業	
4-1	ユニバーサルツーリズムの推進	48
4-2	競技開催地とホストタウン等が連携した情報発信・観光誘客等の促進	51
4-3	東京2020大会のレガシーの活用	52
⑤	県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業	
5-1	将来的な人材育成を行うための調査・検討	53
5-2	空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組	55
5-3	将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業	60
5-4	合同企業説明会・空港見学会開催	66
⑥	過去5年間の成果を更に拡大していく事業	
6-1	県内観光情報・成田空港の魅力発信	67
6-2	県内経済活性化セミナー（一部再掲）	69

6-3	各地域が抱える課題等をとらえた取組	77
6-4	空港利用促進PR等	81
6-5	空港利用回復事業	84
13	基本的な取組	
1	首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備促進に関する要望	93
2	会員向け情報発信の強化（NEWS LETTERの配信）	94

1 事業期間延長の経緯

平成25年に設立された成田空港活用協議会は、当初、その事業期間を5年間とし、平成29年度をもって終了する予定となっていたが、総会の決議により、事業期間を5年間延長し、令和4年度までを第2期として活動を継続することとなった。

事業期間の延長に至る経緯を記すにあたり、まず、協議会設立までの経緯を記しておくこととする。

(1) 「成田空港活用協議会」設立までの経緯

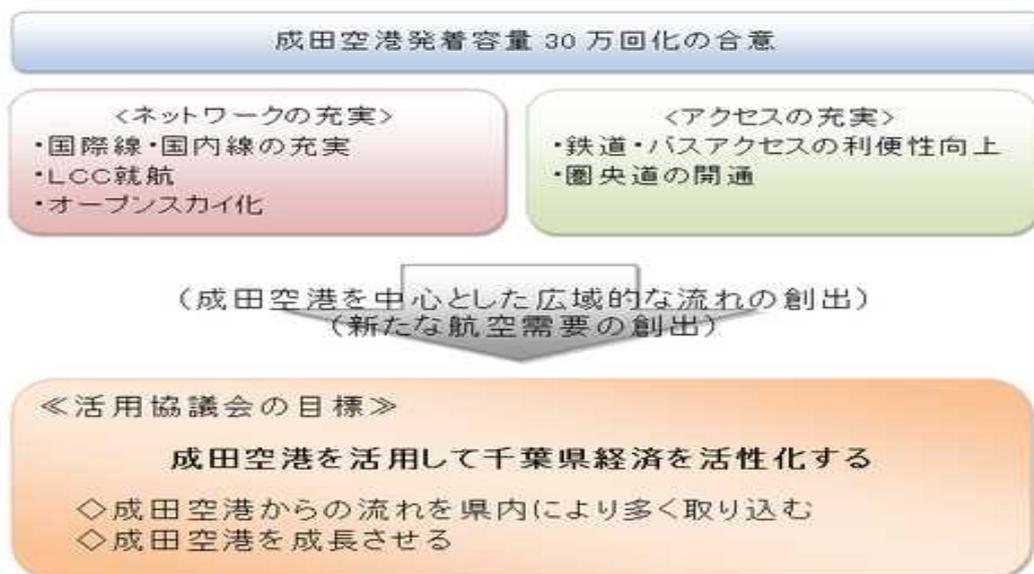
昭和53年に開港した成田空港は日本の表玄関として成長を続け、平成22年10月に年間発着容量30万回への増枠が合意されると、以降、LCCの新規就航や国際線・国内線のネットワークが拡充されるなど、成田空港を取り巻く動きが活発化し、成田空港への鉄道・バスアクセスの向上や圏央道の本更津東一東金間の開通なども相まって、成田空港を中心とした広域的な人・物・財の流れの創出という新たな可能性が生まれていった。

このような新たな動きを取り込み、成田空港の高まるポテンシャルを千葉県経済の活性化につなげるため、平成23年、「グレードアップ『ナリタ』活用戦略会議」が設置され、官民一体の議論が行われた。

平成24年9月、同会議により「成田空港を活用した経済活性化戦略」（提言）が取りまとめられ、成田空港の活用を「オール千葉」で一丸となって進めるべく、成田空港活用協議会（以下、「協議会」）の設立を目指すこととされた。

これを受け、成田空港を活用した本県経済の活性化を図るため、平成25年7月31日に成田空港活用協議会が設立された。

協議会は、短期集中的に事業にあたることとし、その事業期間は5年間（平成25年度～29年度）とされた。設立から5年間の歩みについては、「成田空港活用協議会 5年間の歩み」（平成30年5月発行）に取りまとめたとおりである。



(2) 事業期間の延長

協議会設立後、大きな環境の変化として

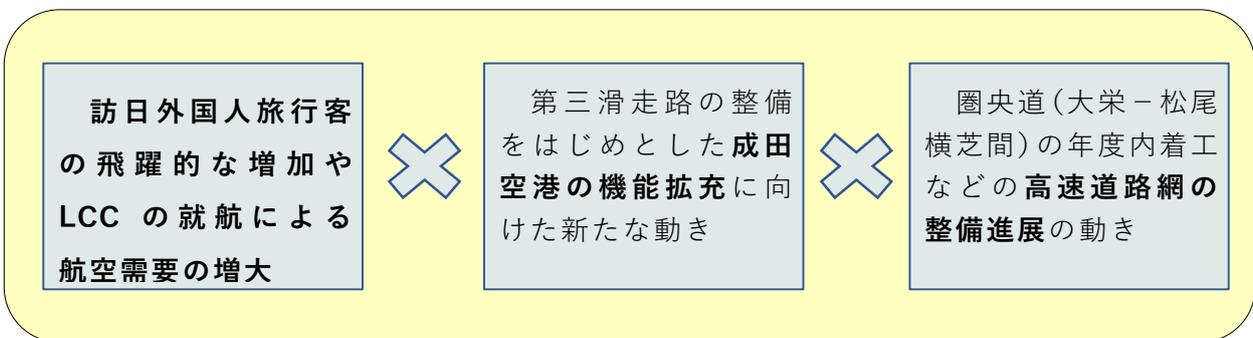
- 訪日外国人旅行客の飛躍的な増加やLCCの就航による航空需要の増大
- 第三滑走路の整備をはじめとした成田空港の機能拡充に向けた新たな動き
- 圏央道（大栄—松尾横芝間）の平成29年度内着工などの高速道路網の整備進展の動きなどが生じてきた。

これは協議会が設立されるきっかけとなった年間発着容量30万回化の合意時以降の大きな環境の変化であり、本県や成田空港にとって、国際空港の立地を活かした経済活性化の可能性の拡大がより期待される状況となった。

このような状況にあって、協議会の平成29年度定例総会においても、協議会の存続を求める意見が会員より出たことから、幹事会において「協議会の今後のあり方」について検討を行うこととした。

その結果、協議会は期限を迎えて活動を終えるのではなく、これまでに行ってきた活動や成果がさらに大きく成長し結実することを目標として継続した活動を行うため、活動期間の延長が必要であるとの結論が出され、平成29年11月に開催された臨時総会において、5年間の活動期間延長が満場一致で可決された。

【30万回化の合意時以降の大きな環境の変化】



国際空港の立地を活かした経済活性化の可能性の拡大



活用協議会の活動期間の延長が必要

2 組織概要

名 称 成田空港活用協議会

設 立 日 平成25年7月31日

事業期間 【第1期】平成25年度～29年度（5年間）

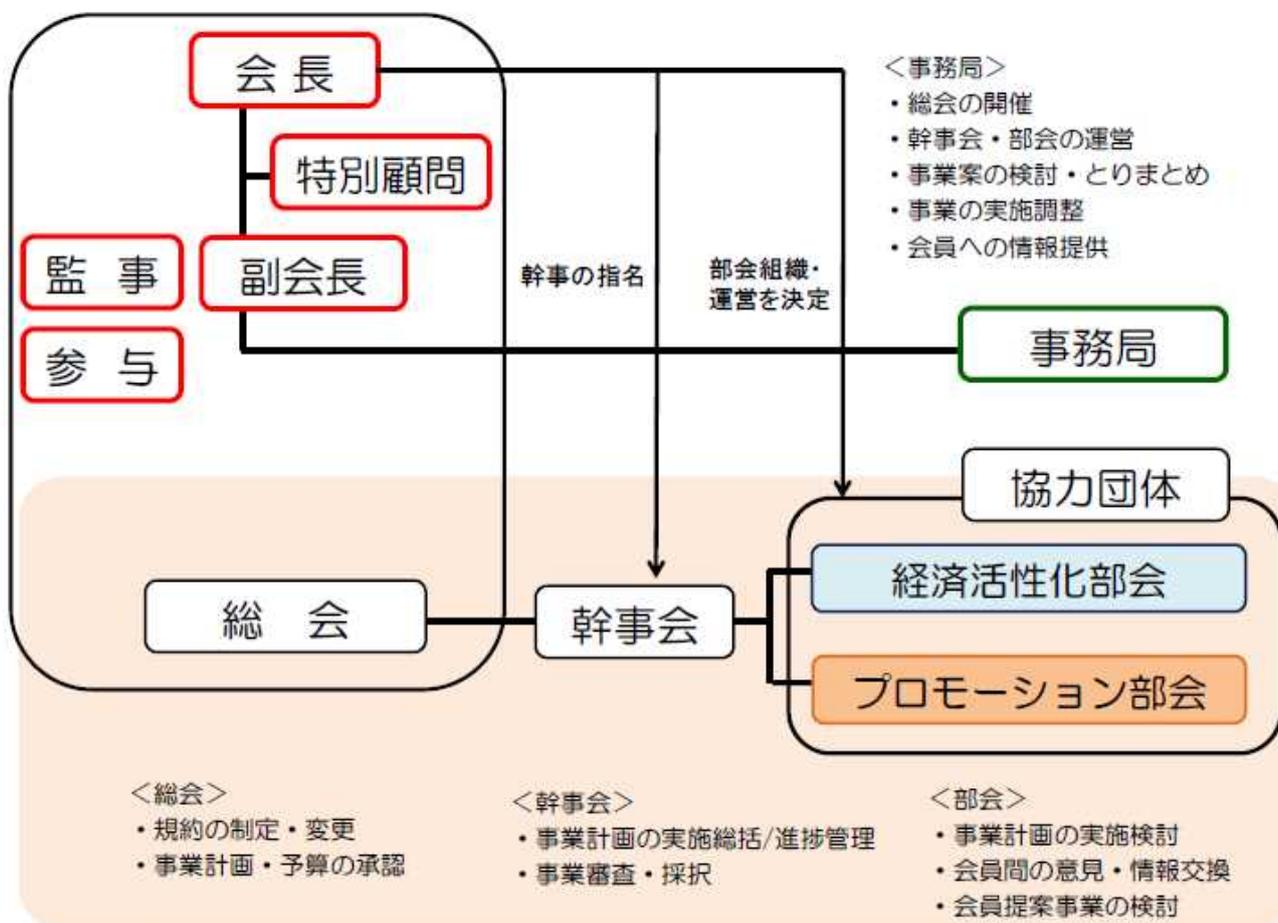
【第2期】平成30年度～令和4年度（5年間）

目 的 成田空港を活用した経済活性化の可能性の拡大を受け、成田空港の更なる成長の促進と会員自身の事業あるいは施策の推進に資する諸事業を、会員相互の連携及び協働のもとに実施することにより、本県経済の活性化に寄与することを目的とする。

事 業 (1) 成田空港を活用した経済活性化に資する事業
 (2) 成田空港を利用する人流・物流の拡大に資する事業
 (3) 会員相互の情報共有に関する事業
 (4) その他目的達成に必要な事業

構 成 経済団体、事業者団体（観光、産業、交通その他の団体）、企業、地方自治体

3 組織図



4 役員

会 長	佐久間 英 利	(一社) 千葉県商工会議所連合会会長 千葉県経済同友会代表幹事
特別顧問	熊 谷 俊 人	千葉県知事
副 会 長	金 子 庄 吉	(一社) 千葉県経済協議会会長
	三 枝 紀 生	(一社) 千葉県経営者協会会長
	小 泉 一 成	成田市長
	田 村 明比古	成田国際空港(株)代表取締役社長
監 事	秦 重 悦	千葉県商工会連合会会長
	平 栄 三	千葉県中小企業団体中央会会長
参 与	前 田 栄 治	(株)ちばぎん総合研究所取締役社長
	飯 沼 喜市郎	(公社) 千葉県観光物産協会会長
	伊 藤 稔	(公財) ちば国際コンベンションビューロー代表理事

令和5年3月31日現在

5 幹事

(一社) 千葉県商工会議所連合会	専務理事 (幹事長)
千葉県経済同友会	事務局長
(一社) 千葉県経済協議会	専務理事
(一社) 千葉県経営者協会	専務理事
千葉県商工会連合会	専務理事
千葉県中小企業団体中央会	常務理事
成田国際空港(株)	取締役
千葉県	空港地域振興課長
成田市	観光プロモーション課長
(株)ちばぎん総合研究所	調査部担当部長 (経済活性化部会 部会長)
(公社) 千葉県観光物産協会	専務理事 (プロモーション部会 部会長)
(公財) ちば国際コンベンションビューロー	事務局長 (プロモーション部会 副部会長)

令和5年3月31日現在

6 会員企業・団体一覧

[会員] 143団体

企業・団体会員 98団体 (五十音順)

(株)秋葉牧場	千葉インバウンド促進協議会	(株)トヨタレンタリース千葉
阿部建設(株)	(株)千葉銀行	成田空港交通(株)
(株)飯沼本家	(株)ちばぎん総合研究所	成田空港レンタカー協議会
イオン(株)	(公社)千葉県観光物産協会	成田国際空港(株)
泉観光バス(株)千葉営業所	(一社)千葉県経営者協会	大本山成田山新勝寺
(株)NAA リテイリング	(一社)千葉県経済協議会	(一社)成田市観光協会
(株)オリエンタルランド	千葉県経済同友会	成田商工会議所
Orange(株)	千葉県ゴルフ協会	(一社)成田スポーツツーリズム推進協会
(株)かずさアカデミアパーク	千葉縣市町村職員共済組合 オークラ千葉ホテル	成田地区ホテル業協会
(株)鎬木商会	千葉県酒造組合	日東交通(株)
(株)北四国産業	千葉県酒類販売(株)	日本航空(株)
近畿日本ツーリスト(株)千葉支店	(一社)千葉県商工会議所連合会	(株)日本旅行千葉支店
(株)グランビスタホテル&リゾート 鴨川シーワールド	千葉県商工会連合会	Peach・Aviation(株)
(株)グリーンポート・エージェンシー	(一社)千葉県タクシー協会	ビー・トランセホールディングス (株)
京成タクシー成田(株)	千葉県中小企業団体中央会	東日本高速道路(株) 関東支社千葉管理事務所
京成タクシー船橋(株)	(一社)千葉県バス協会	東日本電信電話(株)千葉事業部
京成電鉄(株)	千葉県貿易協同組合	東日本旅客鉄道(株)千葉支社
京成トラベルサービス(株)	千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合	平山建設(株)
京成バス(株)	千葉県レクリエーション都市開発(株)	福井電機(株)
(株)京葉銀行	(一社)千葉県レンタカー協会	(株)Flact
(公財) 航空科学博物館	(株)千葉興業銀行	(株)バイエフエム
国立歴史民俗博物館	千葉交通(株)	県立房総のむら
小湊鐵道(株)	千葉構内タクシー(株)	北総鐵道(株)
(株)坂戸工作所	(公財)ちば国際コンベンションビューロ ー	(株)幕張メッセ
参光タクシー(株)	千葉商工会議所	松崎交通(株)
(株)JTB千葉支店	千葉中央バス(株)	(株)MATCHA
ジェットスター・ジャパン(株)	千葉テレビ放送(株)	三井不動産(株)
芝山鐵道(株)	千葉トヨペット(株)	三菱地所・サイモン(株) 酒々井プレミアム・アウトレット

スプリング・ジャパン(株)	(株)千葉日報社	(株)みんなのごはん
全国農業協同組合連合会千葉県本部	塚本総業(株)	ユアサ・フナシヨク(株)
全日本空輸(株)成田空港支店	東京ガスネットワーク(株)千葉支社	米屋(株)
(株)相互	東京空港交通(株)	(株)読売広告社
ダイユウホーム(株)	(株)トヨタレンタリース新千葉	

県・市町村会員 45団体

千葉県	茂原市	勝浦市	袖ヶ浦市	匝瑳市	栄町	横芝光町	長南町
千葉市	成田市	市原市	八街市	香取市	神崎町	一宮町	大多喜町
銚子市	佐倉市	我孫子市	印西市	山武市	多古町	睦沢町	鋸南町
館山市	東金市	鴨川市	白井市	いすみ市	東庄町	長生村	
木更津市	旭市	鎌ヶ谷市	富里市	大網白里市	九十九里町	白子町	
松戸市	柏市	四街道市	南房総市	酒々井町	芝山町	長柄町	

令和5年3月31日現在

[協力団体] 2団体

(一社) 日本旅行業協会関東支部千葉県地区委員会
成田国際空港航空会社運営協議会

7 事業の柱と6つの事業テーマ

第2期では、次のとおり、2つの事業の柱と6つの事業テーマを設定した。

事業の柱① 成田空港を活用した経済活性化

事業の柱② 成田空港を利用する人流・物流の拡大

① 空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業

立地ニーズや可能性・産業の動向に関する情報収集・調査研究→提言・情報発信

② 成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業

空港関連ビジネスや支援・育成体制の情報収集・調査研究
新しいビジネスモデルの掘り起こしと情報発信等

③ 県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業

会員提案によるモデル事業や会員同士のマッチング事業等

④ 東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業

オリパラの関連支援事業や会員提案による関連事業等

⑤ 県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業

観光、地域振興、人材育成等に関する意見交換会や共同事業等

⑥ 過去5年間の成果を更に拡大していく事業

情報発信、相互交流の深化・継続と他事業への成果の還元

活用協議会の新たな事業展開により県経済の活性化への好循環を促進

成田空港を活用する産官学での**推進体制の強化**

空港及び空港関連産業や地域振興のための**人材供給の促進**

「地方創生」や「2020東京オリンピック・パラリンピック」等の動きを捉えることによる
成田空港の機能や特性の活用促進

成田空港を活かした**産業集積**や新たなビジネス創出のための**環境整備**と**会員による事業展開の促進**

6つの事業テーマと取組の方向

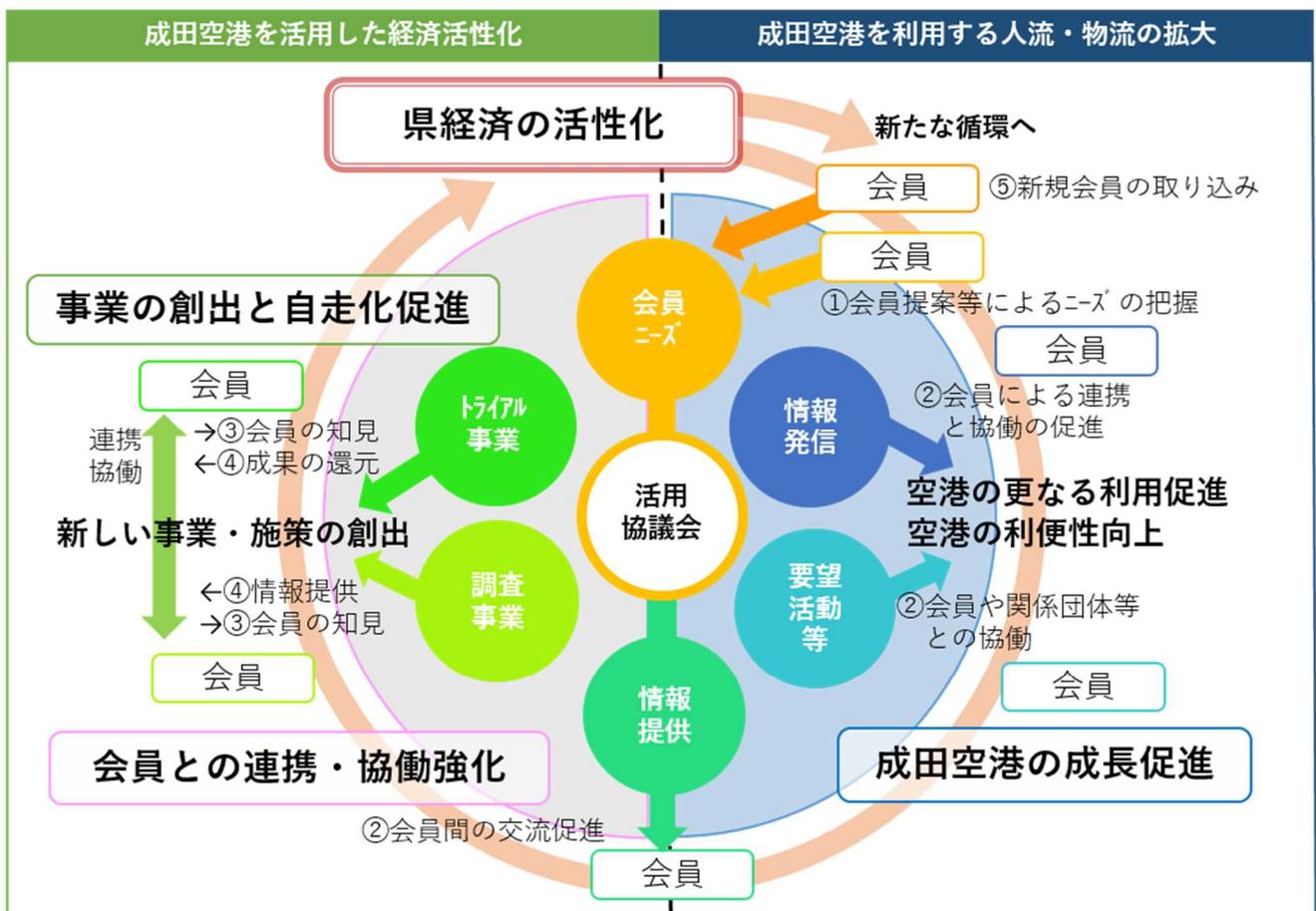
8 協議会のプラットフォーム機能

第2期では、第1期の活動を踏まえ、

- 過去5年間（第1期）の成果の更なる拡大
- 「オール千葉」の力を発揮するための会員との連携・協働強化
- 会員自身の事業・施策としての事業の創出・自走化の促進

といった目的を達成するため、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図ることなど、成田空港を活用した県経済活性化のための「プラットフォーム機能」を発揮することで、会員が主体となった事業の創出・自走化の促進を念頭に活動を行った。

<参考> 「プラットフォーム機能」のイメージ図



9 活動年表

平成30年度（2018年度）

[千葉県・成田空港を取り巻く環境の変化・できごと]

- ・ 成田空港開港40周年（5月20日）
- ・ 外環道（三郷南IC—高谷JCT）が開通（6月2日）
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックまであと2年
2年前イベントを各地で開催・都市ボランティア募集（7月～8月）
- ・ 観光入込客数が5年連続過去最高を更新（10月11日）
- ・ 成田空港の発着・旅客数が過去最高を記録（25万回突破・4,000万人超え）
- ・ 圏央道（大栄—横芝間）千葉県区間の全線開通に向けて本体工事に着手

年 月 日	展 開
平成30年5月10日	平成30年度第1回幹事会を開催
5月25日	平成30年度総会を開催 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（周遊データを活用したインバウンドビジネスの成功戦略）
6月4日	第2回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（外環道開通の地域活性化効果と発展方向）
7月13日	ユニバーサルツーリズム促進のためのセミナーを開催
7月20日	平成30年度第2回幹事会を開催
9月28日	ユニバーサルツーリズム促進のためのフィールドワークを実施（香取市）
10月3日	平成30年度第3回幹事会を開催
10月20日, 21日	新規就航プロモーション（長崎・ジェットスター・ジャパン）を実施
10月31日	第3回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（成田空港から地方創生を考える）
11月19日 ～12月12日	アクティビティ（体験型）商品開発の参加会員の公募を実施
11月20日	首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を実施
12月18日	平成30年度第4回幹事会を開催
平成31年1月28日 ～2月23日	訪日外国人向けWebマガジン「MATCHA」成田空港特集サイトに県内観光情報を掲載
2月～3月	成田空港関連企業の雇用ニーズ調査を実施
2月1日～3月22日	アジア経済圏の消費者に対するマーケティング調査を実施
2月25日	ランドオペレーターとの商談会を開催 日刊工業新聞に広告を掲載
3月7日	ユニバーサルツーリズム促進のためのモニターツアーを実施（成田～佐原）
3月9日, 10日	新規就航プロモーション（高知・ジェットスター・ジャパン）を実施
3月19日	「おいしい千葉と空の商談会2019春」を開催

年 月 日	展 開
3月27日	平成30年度第5回幹事会を開催
令和元年度（2019年度）	
[千葉県・成田空港を取り巻く環境の変化・できごと]	
<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックまであと1年 チケット販売開始（7月） ・台風15号・19号及び10月25日の大雨で甚大な被害が発生（9月～10月） ・開港以来初となる成田空港の夜間発着時間の延長 午前0時まで（10月27日） ・成田国際空港^株が国に航空法に基づく空港等変更許可申請を提出 第3滑走路新設やB滑走路延伸・空港の更なる機能強化へ（11月7日） ・成田空港の航空旅客数11億人達成（11月21日） ・新型コロナウイルス感染症の感染者を日本で初確認（1月15日） ・「チバニアン」命名決定 地質年代に千葉の名が（1月17日） ・国が航空法に基づく空港等変更を許可（1月31日） ・東京2020オリンピック・パラリンピックの令和3年夏への延期が決定（3月24日） ・成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」策定（3月27日） 	
年 月 日	展 開
令和元年6月4日	令和元年度第1回幹事会を開催
7月18日	令和元年度総会を開催 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（空港関連企業の雇用ニーズ調査・アジア経済圏におけるマーケティング調査）
7月24日	令和元年度第2回幹事会を開催
7月31日	「おいしい千葉と空の商談会2019夏」を開催
8月3日	新規就航プロモーション（庄内・ジェットスタージャパン）を実施
9月5日	ユニバーサルツーリズムセミナー及びフィールドワークを実施（館山市）
9月27日	「ちばの『おもてなし』食フォーラム」を開催
10月8日	空港関連企業の雇用確保に向けて、大学との意見交換会を開催
10月24日	令和元年度第3回幹事会を開催 ユニバーサルツーリズムモニターツアーを実施（館山市）
11月8日	おもてなし食チャレンジミーティング（第1回）を開催
11月12日	首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を実施
11月14日	おもてなし食チャレンジミーティング（第2回）を開催
11月15日	アクティビティ（体験型）モニターツアーを実施（芝山町）
11月21日～23日	K I T T E千葉県アンテナショップにベジタリアン・ムスリムフレンドリー製品販売ブース出展
11月29日	日本遺産等を活用したモニターツアーを実施（佐倉市）
12月6日	ユニバーサルツーリズムの事後フォロー勉強会を開催
12月18日	令和元年度第4回幹事会を開催
12月12日 ～令和2年2月3日	写真コミュニティサイト（LUMIX CLUB PicMate）にて日本遺産誘客プロモーションを実施（成田市・佐倉市）

年 月 日	展 開
12月26日, 令和2年1月7日	訪日外国人向けWebマガジン「MATCHA」にオリパラ開催地(千葉市、一宮町)の観光情報を掲載
令和2年1月7日	アクティビティ(体験型)モニターツアーを実施(千葉市)
1月20日 ～3月31日	千葉ペリエにベジタリアン・ムスリムフレンドリー製品販売ブース出展
1月24日	日本遺産等を活用したモニターツアーを実施(成田市)
1月28日	ランドオペレーターとの商談会を開催
1月30日	CHIBAビジコン2019で成田空港活用協議会賞を授与(株蜂蜜工房)
2月10日	おもてなし食チャレンジミーティング(第3回)を開催
2月26日	日刊工業新聞に広告を掲載
3月2日～15日	成田空港第1ターミナルにベジタリアン・ムスリムフレンドリー製品販売ブース出展
3月10日～13日	千葉県の食の多様性をPRするポスターをJR海浜幕張駅及び同駅近隣ショッピングセンターに掲出
3月12日	成田空港第2ターミナル出国後エリアに「光る江戸図」の展示を開始(新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年4月8日以降閉鎖中)
3月18日	第2回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催(地方創生と連動したDMO養成塾)
3月20日	道の駅多古あじさい館にベジタリアン・ムスリムフレンドリー製品販売ブース出展
3月27日	令和元年度第5回幹事会を開催
令和2年度(2020年度)	
<p>[千葉県・成田空港を取り巻く環境の変化・できごと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け各種イベント等が延期・中止 ・観光庁がGOTトラベル事業を実施(7月22日) ・北千葉道路(市川—松戸)の国の権限代行事業による新規事業化が決定(3月30日) ・令和2年度の成田空港旅客数が前年比92%減で過去最低に 	
年 月 日	展 開
令和2年6月3日	令和2年度第1回幹事会を開催(書面開催)
7月～	ベジタリアンフレンドリー商品の展示・販売拠点整備を支援(多古町・成田市)
8月18日	地方創生と連動したDMO養成塾(臨時会議)を開催
8月20日	令和2年度第2回幹事会を開催
9月8日～23日	令和2年度総会を開催(書面議決)
9月10日	地方創生と連動したDMO養成塾(第2回)を開催
9月10日 ～12月25日	写真コミュニティサイト(LUMIX CLUB PicMate)にて日本遺産誘客プロモーションを実施(香取市・銚子市)
10月5日～7日	「カフェレス・ジャパン」(日本最大級のカフェ・レストラン専門展)におもてなし食プロジェクトのブース出展

年 月 日	展 開
10月20日	令和2年度第3回幹事会を開催（書面開催）
10月25日～27日	地方創生と連動したDMO養成塾（先進事例調査）にて宮城県気仙沼市を視察
10月27日 ～令和3年1月25日	そごう千葉店にベジタリアン製品販売ブース出展
11月12日	首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を実施
11月20日～30日	ユニバーサルツーリズムオンラインセミナーを実施
11月25日	アクティビティ（体験型）モニターツアーを実施（芝山町）
11月29日	日本遺産等を活用したモニターツアーを実施（香取市）
12月11日	地方創生と連動したDMO養成塾（第3回）を開催
12月14日	令和2年度第4回幹事会を開催（書面開催）
令和3年1月10日	CHIBAビジコン2020で成田空港活用協議会賞を授与（株さつまいもの石田農園）
1月20日	地方創生と連動したDMO養成塾（第4回）を開催
2月9日	令和2年度第5回幹事会を開催（書面開催） 地方創生と連動したDMO養成塾（第5回）を開催
2月22日	令和2年度第6回幹事会を開催（書面開催）
2月23日	ユニバーサルツーリズムオンラインモニターツアーを実施（館山市）
2月24日	ユニバーサルツーリズム事後フォロー勉強会を開催（館山市） 日刊工業新聞に広告を掲載
3月4日	アクティビティ（体験型）モニターツアーを実施（いすみ市）
3月5日～31日	成田空港国内線利用者に対する新型コロナウイルス郵送検査サポートオプションの一部費用負担を実施
3月9日	「おいしい千葉と空の商談会2021春」を開催
3月19日	令和2年度第7回幹事会を開催
3月26日	地方創生と連動したDMO養成塾（第6回）を開催
令和3年度（2021年度）	
<p>【千葉県・成田空港を取り巻く環境の変化・できごと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルスが猛威を振るう一方、ワクチン接種が進む ・千葉県の人口が過去最多を記録（6月25日） ・東京2020オリンピック・パラリンピックを無観客で開催（7月～9月） ・北総鉄道(株)が令和4年10月の運賃値下げを発表（11月19日） ・成田国際空港(株)が令和5年度の第3滑走路準備工事着手を発表（12月23日） ・新生成田市場がオープン（1月20日） 	
年 月 日	展 開
令和3年4月22日	令和3年度第1回幹事会を開催
4月	「おいしい千葉と空の商談会2021春」のアフターフォローを実施
5月～9月	東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン紹介動画を公共施設で放映（山武市・君津市・いすみ市・松戸市・木更津市）

年 月 日	展 開
5月17日	令和3年度総会を開催
	第1回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（成田空港の更なる機能強化・国家戦略特区）
5月26日	令和3年度第2回幹事会を開催
6月10日	成田空港活用協議会NEWS LETTERを創刊
6月16日	令和3年度第3回幹事会を開催（書面開催）
7月19日～23日	イオンモール幕張新都心で東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン紹介動画を放映
9月8日	令和3年度第4回幹事会を開催（書面開催）
9月16日	令和3年度第5回幹事会を開催（書面開催）
10月7日	令和3年度第6回幹事会を開催
10月13日	夷隅地域ミーティングを開催
10月27日	安房地域ミーティングを開催
11月12日	令和3年度第7回幹事会を開催（書面開催）
11月17日	千葉県観光商談会を開催（北海道札幌市）
11月24日	空港関連企業の雇用確保に向けた高等学校・専門学校との意見交換会を開催
11月25日	首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を実施
12月3日	アクティビティ（体験型）モニターツアーを実施（いすみ市）
12月14日	令和3年度第8回幹事会を開催
令和4年1月18日	「おいしい千葉と空の商談会2022冬」を開催
1月21日	アクティビティ（体験型）モニターツアーを実施（横芝光町）
2月1日	第2回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（圏央道全線開通への期待）
2月9日	令和3年度第9回幹事会を開催（書面開催）
2月14日,15日	日本遺産等を活用したモニターツアーを実施（銚子市）
2月20日	A N A体験型航空教室（第1回）を実施
2月25日	日刊工業新聞に広告を掲載
2月27日	J A L体験型航空教室を実施
3月3日	地方創生と連動したDMO養成塾（報告会）を開催
3月5日	A N A体験型航空教室（第2回）を実施
3月8日	第3回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（観光DX・おもてなし）
3月16日	高等学校における空港関連職種に関する出張授業を実施
3月20日	A N A体験型航空教室（第3回）を実施
3月26日	京成バス千葉営業所管内にバスラッピング広告を掲出（1年間）
3月28日	令和3年度第10回幹事会を開催
3月31日	成田空港利用促進ポスターを県内郵便局、金融機関等で掲出
	旅行系フリーペーパー「たびいじょ」へタイアップ記事掲載

令和4年度（2022年度）

〔千葉県・成田空港を取り巻く環境の変化・できごと〕

- ・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、徐々に行動制限が緩和
- ・成田空港第3ターミナルの拡張整備により年間取扱能力が1,500万人に（4月5日）
- ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、5月8日に今の「2類相当」から「5類」に移行する方針が決定（1月27日）
- ・成田国際空港㈱が「新しい成田空港」構想の中間とりまとめを発表（3月30日）

年 月 日	展 開
令和4年4月15日	令和4年度第1回幹事会を開催
4月27日	安房地域ミーティング、夷隅地域ミーティングを開催
5月23日	令和4年度総会を開催し、事業期間の10年延長が全会一致で可決 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（脱炭素）
6月17日	令和4年度第2回幹事会を開催
7月7日	東葛飾地域ミーティングを開催
7月25日	令和4年度第3回幹事会を開催
8月10日	令和4年度第4回幹事会を開催（書面開催）
9月3日	「パラスポーツフェスタちば2022」にエコバッグを提供
9月6日	令和4年度第5回幹事会を開催
9月14日	アクティビティ商品開発事業報告会を開催
10月20日 ～12月20日	成田空港周辺地域振興連絡協議会が主催する「成田空港国内線利用者 向けプレゼントキャンペーン」に賞品を提供
10月25日	ワーケーション・テレワーク推進セミナーを開催
11月1日	「おいしい千葉と空の商談会2022秋」を開催
11月6日	「ちばアクアラインマラソン2022」の成田空港ブースへの出展
11月7日	高等学校における空港関連職種に関する出張授業を実施
11月10日	令和4年度第6回幹事会を開催
11月23日	体験型航空教室（GPA+JAL）を開催
11月27日	体験型航空教室（GPA+ANA）を開催
12月20日	令和4年度第7回幹事会を開催
12月21日	高等学校における空港関連職種に関する出張授業を実施
令和5年1月 ～令和6年3月	成田空港第1ターミナルビルパンフレットラックでのPR
1月26日	第2回県内経済活性化ビジネスセミナーを開催（産業集積）
2月6日	成田空港合同企業説明会の開催（後援）
2月11日	B. B. B A S Eで行く！早春の南房総モニターツアーを開催（協力）
2月16日	ランドオペレーターとの商談会を開催
2月18日	高等学校における空港関連職種に関する出張授業を実施
2月22日	脱炭素社会推進支援セミナーを開催
2月28日	日刊工業新聞に広告を掲載
3月3日	令和4年度第8回幹事会を開催
3月13日	令和4年度第9回幹事会を開催

3月18日, 19日	成田空港発着型の広域観光メニューづくり事業のモニターツアーを実施
3月30日 ～5月15日	成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等をアピールする内容の広告をコピー用紙へ掲載、LINE配信

10 メディア露出

No	テーマ	掲載日	媒体名
1	女子旅×成田LCC	平成30年5月2日	千葉日報
2	総会	平成30年5月26日	千葉日報
3	総会	平成30年5月26日	日本経済新聞
4	総会	平成30年5月28日	航空新聞社WING
5	第2回経済活性化ビジネスセミナー	平成30年6月8日	日刊建設工業新聞
6	第3回経済活性化ビジネスセミナー	平成30年11月1日	千葉テレビ
7	第3回経済活性化ビジネスセミナー	平成30年11月1日	千葉日報
8	第3回経済活性化ビジネスセミナー	平成30年11月1日	読売新聞
9	ランドオペレーターとの商談会	平成31年2月25日	千葉テレビ
10	ランドオペレーターとの商談会	平成31年2月26日	千葉日報
11	おいしい千葉と空の商談会	平成31年3月19日	時事通信社
12	おいしい千葉と空の商談会	平成31年3月19日	千葉テレビ
13	おいしい千葉と空の商談会	平成31年3月20日	千葉日報
14	おいしい千葉と空の商談会	平成31年3月20日	日刊工業新聞
15	おいしい千葉と空の商談会	平成31年3月21日	読売新聞
16	おいしい千葉と空の商談会	平成31年4月12日	毎日新聞
17	総会	令和元年7月18日	千葉テレビ
18	総会（新会長就任）	令和元年7月19日	千葉日報
19	総会	令和元年7月19日	日本経済新聞
20	おいしい千葉と空の商談会	令和元年8月1日	千葉日報
21	おいしい千葉と空の商談会	令和元年8月22日	毎日新聞
22	おもてなし食プロジェクト	令和元年9月25日	日刊航空
23	おもてなし食プロジェクト	令和元年10月4日	日本経済新聞
24	ランドオペレーターとの商談会	令和2年1月30日	千葉日報
25	おもてなし食プロジェクト	令和2年3月3日	千葉日報
26	おもてなし食プロジェクト	令和2年3月3日	Fly Team
27	光る江戸図	令和2年3月8日	千葉日報
28	光る江戸図	令和2年3月11日	日本経済新聞

29	光る江戸図	令和2年3月12日	日刊航空
30	光る江戸図	令和2年4月1日	毎日新聞
31	おもてなし食プロジェクト	令和2年8月11日	東京新聞
32	おもてなし食プロジェクト	令和2年8月19日	千葉日報
33	おいしい千葉と空の商談会	令和2年3月10日	千葉テレビ
34	千葉県観光商談会（北海道）	令和3年11月10日	時事通信社
35	千葉県観光商談会（北海道）	令和3年11月11日	旬刊旅行新聞
36	千葉県観光商談会（北海道）	令和3年11月11日	航空新聞社WING
37	体験型航空教室	令和4年3月9日	毎日新聞
38	体験型航空教室	令和4年3月31日	千葉日報
39	体験型航空教室	令和4年4月12日	毎日新聞
40	総会（10年延長）	令和4年5月23日	千葉テレビ
41	総会（10年延長）	令和4年5月24日	千葉日報
42	総会（10年延長）	令和4年5月24日	読売新聞
43	総会（10年延長）	令和4年5月24日	航空新聞社WING
44	総会（10年延長）	令和4年6月4日	東京新聞
45	おいしい千葉と空の商談会	令和4年10月28日	日刊航空
46	おいしい千葉と空の商談会	令和4年11月1日	千葉テレビ
47	体験型航空教室	令和4年11月23日	千葉テレビ
48	体験型航空教室	令和4年11月24日	Aviation Wire
49	体験型航空教室	令和4年12月1日	千葉日報
50	体験型航空教室	令和4年12月13日	毎日新聞
51	B.B.BASE で行く！早春の南房総モニターツアー	令和5年2月13日	千葉テレビ
52	ランドオペレーターとの商談会	令和5年2月16日	千葉テレビ
53	ランドオペレーターとの商談会	令和5年2月25日	千葉日報

1 1 事業実施状況

各年度の実施事業を「ビジネス支援事業」「空港利用促進事業」「基本的な取組み」の3項目に分類し、協議会の「6つの事業テーマ」の該当については次の凡例により示した。

【6つの事業テーマ】

- 空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業
- 成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業
- 県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業
- 東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業
- 県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業
- 過去5年間の成果を更に拡大していく事業

平成30年度事業実施状況

活用協の新たなステージの初年度として、会員の新たなビジネス展開に資する事業や千葉県経済活性化への寄与を念頭に事業展開を図った。

○**ビジネス支援事業** 予40,000千円 決23,017千円

- **アジア経済圏におけるマーケティング**
 - ・アジア6か国の現地消費者の千葉県に対する観光／購買ニーズをアンケート・ヒアリング調査
- **アクティビティ（体験型）商品開発**
 - ・参加会員を公募選定、商品開発
- **航空／空港関連企業との商談会**
 - ・日本航空関連企業との商談会
- **ランドオペレーターとの商談会**
 - ・成田市で商談会
- **ユニバーサルツーリズムの推進**
 - ・セミナー、フィールドワーク、モニターツアー
- **将来的な人材育成を行うための調査・検討**
 - ・成田空港関連企業の雇用ニーズ調査
- **県内観光情報・成田空港の魅力発信**
 - ・訪日外国人向けWebサイトで県内観光情報発信
- **県内経済活性化セミナー**
 - ・インバウンド動向、外環道、地方創生

○**空港利用促進事業** 予2,000千円 決1,015千円

- **空港利用促進PR**
 - ・長崎市、高知市でジェットスター新規就航PR

○**基本的な取組**

- **空港利便性向上のための国等への要望**
 - ・圏央道及び北千葉道路の整備要望

令和元年度事業実施状況

台風・集中豪雨による大きな被害が発生したことや新型コロナウイルス感染症の発生を受け、一部事業で延期や規模縮小が生じた。

○**ビジネス支援事業** 予51,400千円 決31,048千円

- **GHIBA ビジコンとの連携による新規事業創出の促進**
 - ・優秀者に活用協議会賞を授与
- **アクティビティ（体験型）商品開発**
 - ・芝山町、千葉市で体験型モニターツアー
- **航空／空港関連企業との商談会**
 - ・全日本空輸関連企業との商談会
- **ランドオペレーターとの商談会**
 - ・館山市で商談会、交流会、モニターツアー
- **訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト**
 - ・ハラル、ベジタリアン対応セミナー・PR
- **日本遺産等を活用した誘客促進**
 - ・佐倉市、成田市でモニターツアー・PR
- **地方創生と連動したDMO養成塾**
 - ・DMOを核とした地域経営等を学ぶ講座
- **日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上等**
 - ・「光る江戸図」を製作、成田空港内に展示
- **ユニバーサルツーリズムの推進**
 - ・セミナー、フィールドワーク、モニターツアー
- **競技開催地とホストタウン等が連携した情報発信等**
 - ・ホストタウン紹介動画を製作
- **空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関連携**
 - ・県内大学との意見交換
- **県内観光情報・成田空港の魅力発信**
 - ・訪日外国人向けWebサイトで県内観光情報発信
- **県内経済活性化セミナー**
 - ・雇用ニーズ調査、アジア経済圏マーケティング調査

○**空港利用促進事業** 予2,000千円 決261千円

- **空港利用促進PR**
 - ・酒田市でジェットスター庄内線新規就航PR

○**基本的な取組**

- **空港利便性向上のための国等への要望**
 - ・圏央道及び北千葉道路の整備要望

令和2年度事業実施状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの事業が縮小、先送りを余儀なくされた。

○**ビジネス支援事業** 予算29,500千円 決19,048千円

- CHIBA ビジコンとの連携による新規事業創出の促進
・優秀者に活用協議会賞を授与

- アクティビティ（体験型）商品開発
・芝山町、いすみ市で体験型モニターツアー

- 航空／空港関連企業との商談会
・日本航空・全日本空輸関連企業等との商談会

- 訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト
・ハラールやベジタリアン対応への支援・PR

- 日本遺産等を活用した誘客促進
・香取市でモニターツアー・PR

- 地方創生と連動したDMO養成塾
・DMOを核とした地域経営等を学ぶ講座

- 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上等
・成田空港内に「光る江戸図」を展示

- ユニバーサルツーリズムの推進
・セミナー、モニターツアー、勉強会

- 競技開催地とホストタウン等が連携した情報発信等
・ホストタウン紹介動画を市町村で放映

○**空港利用促進事業** 予算7,000千円 決150千円

- 空港利用回復事業
・国内線利用者の新型コロナウイルス検査オプション補助

○**基本的な取組**

- 空港利便性向上のための国等への要望
・圏央道及び北千葉道路の整備要望

令和3年度事業実施状況

依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染防止策を講じたうえで可能な限り事業を実施した。

○**ビジネス支援事業** 予算28,500千円 決20,613千円

- アクティビティ（体験型）商品開発
・いすみ市、横芝光町で体験型モニターツアー

- 航空／空港関連企業との商談会
・全日本空輸・日本航空関連企業等との商談会

- 千葉県観光商談会（北海道）
・北海道の旅行会社との商談会

- 日本遺産等を活用した誘客促進
・銚子市でモニターツアー

- 地方創生と連動したDMO養成塾
・養成塾の報告書とりまとめ、報告会

- 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上等
・成田空港内に「光る江戸図」を展示

- 競技開催地とホストタウン等が連携した情報発信等
・ホストタウン紹介動画を市町村等で放映

- 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関連携
・高校・専門学校との意見交換・出張授業

- 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室
・日本航空・全日本空輸と連携した体験型航空教室

- 県内経済活性化セミナー
・CHIBA ビジコン、圏央道、観光DX及びおもてなし

- 地域課題解決のための検討会
・夷隅、安房にて検討会

○**空港利用促進事業** 予算7,000千円 決4,830千円

- 空港利用回復事業
・ポスター作成、交通機関へのラッピング広告等

○**基本的な取組**

- 空港利便性向上のための国等への要望
・圏央道及び北千葉道路の整備要望

令和4年度事業実施状況

第2期の最終年度として、これまでの活動の成果や課題を踏まえつつ、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた事業展開を図った。

○ビジネス支援事業 予算25,000千円 決算20,701千円

- **アクティビティ（体験型）商品開発**
 - ・過去4年の成果について報告会
- **航空／空港関連企業との商談会**
 - ・日本航空・全日本空輸関連企業等との商談会
- **ランドオペレーターとの商談会**
 - ・千葉市で商談会、交流会
- **脱炭素社会推進支援事業**
 - ・セミナー
- **日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上等**
 - ・成田空港内に「光る江戸図」を展示
- **成田空港・周辺地域と連携したワーケーション推進**
 - ・成田市でセミナー
- **東京2020大会のレガシーの活用**
 - ・パラスポーツイベントへのエコバッグの提供
- **空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関連携**
 - ・高校にて出張授業
- **将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室**
 - ・日本航空・全日本空輸と連携した体験型航空教室
- **県内経済活性化セミナー**
 - ・脱炭素S A F、北千葉道路
- **地域課題解決のための検討会**
 - ・夷隅、安房、東葛飾にて検討会

○空港利用促進事業 予算7,187千円 決算7,187千円

- **空港利用回復事業**
 - ・成田空港内での訪日外国人観光客向けパンフレットの設置、観光ショーケースへの出展等

○基本的な取組

- **空港利便性向上のための国等への要望**
 - ・圏央道及び北千葉道路の整備要望

1 2 事業概要

1 1 空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業

1 - 1 圏央道全線開通等を見据えた企業誘致に向けた取組

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）などの道路網の整備進展は、成田空港へのアクセスを向上させ、人流・物流の拡大や空港周辺・沿線への産業集積を促進することが期待される。第1期（平成25年）より立地ニーズや産業動向に関する調査・セミナーを実施してきたが、第2期においても、整備の進捗状況や周辺開発の動向に合わせたテーマを設定し、セミナーを実施した。

【平成30年度】

「外環道千葉区間開通により期待される地域活性化効果と発展方向」（6／4）（第2回県内経済活性化ビジネスセミナー）及び、開通3日目の外環道（高谷JCT—松戸IC）を利用して東葛飾合同庁舎（松戸市）へ移動した後、国、地元、民間企業それぞれの立場から講演を行った。

（1）セミナー

（ア）「首都圏における外環道の重要性・整備効果と今後の整備の展望等」

講師 国土交通省関東地方整備局道路部道路企画官 鈴木通仁 氏

（イ）「外環道の開通により期待する効果」

講師 松戸市商工会議所専務理事 薄葉博司 氏

（ウ）「最新鋭の物流施設展開と社会インフラ（高速道路・空港）の活用」

講師 プロロジス開発部長 村上隆志 氏

（2）外環道体感バスツアー

（ア）「外環道整備により期待される千葉県の発展方向と課題」

講師 株式会社ちばぎん総合研究所調査部担当部長 小松孝之 氏



セミナー会場の様子



バス内で講義を行う小松担当部長

【令和元年度】

(中止)「空き公共施設を活用した企業誘致の可能性と方向性」

(第2回県内経済活性化ビジネスセミナー)

北千葉道路、空き公共施設を活用した企業誘致をテーマに企画・参加者募集等を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大により中止とした。

【令和2年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。

【令和3年度】

「圏央道全線開通による県内経済活性化への期待」(2/1)

(第2回県内経済活性化ビジネスセミナー)

開場したばかりの新生成田市場において講演を行った後、市場内や圏央道(大栄IC—横芝IC)のインターチェンジ建設予定地等を見学した。

(1) セミナー

(ア)「圏央道全線開通による県内経済活性化への期待」

講師 参与 (株)ちばぎん総合研究所取締役会長 水野 創 氏

(イ)「新生成田市場の開場による地域経済活性化効果」

講師 成田市経済部卸売市場主幹 河野雅祐 氏

(ウ)「新生成田市場に入所するメリットなどについて」

講師 NAX JAPAN(株)取締役常務執行役員 佐藤啓仁 氏

(2) 視察(圏央道:大栄IC⇔横芝IC)

(3) 新生成田市場内各施設を見学

(4) バス車中より圏央道インターチェンジ建設予定地等を見学



水野参与による講演の様子



市場視察の様子

【令和4年度】

「柏の葉に学ぶ産業集積と北千葉道路開通への期待」(1/26)

(第2回県内経済活性化ビジネスセミナー)

令和3年度に国による新規事業化がなされるなど、整備に向け着実に進展する「北千葉道路」により成田空港と繋がる東葛地域に焦点をあて、北千葉道路の整備促進や周辺開発・産業集積への機運醸成を図った。

(1) セミナー

(ア) 「北千葉道路の整備と成田空港の機能強化による経済活性化」

講師 参与 (株)ちばぎん総合研究所取締役社長 前田栄治 氏

(イ) 「柏の葉スマートシティにおける産業集積について」

講師 三井不動産(株)柏の葉街づくり推進部グループ長 吉崎典孝 氏

(2) 視察 (一部バスを利用)

(ア) スマートセンター

(イ) まちの健康研究所

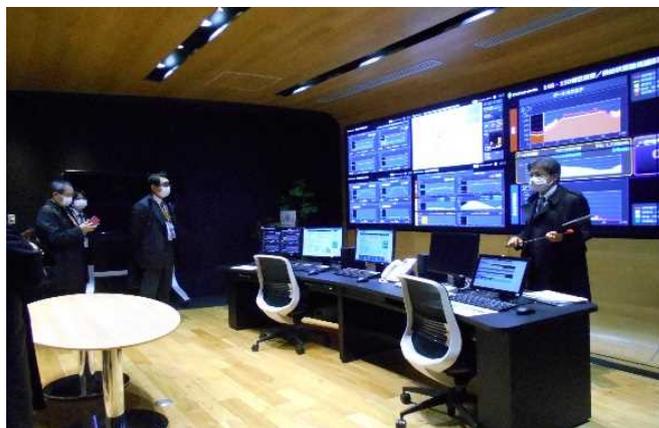
(ウ) 公共区間の整備(公道・AIカメラ等)

(エ) 三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド

(オ) 三井リンクラボ柏の葉



講演する前田参与の様子



視察会場での吉崎様の様子

2 成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業

2-1 アジア経済圏におけるマーケティング

千葉県は訪日外国人の訪問数が多い一方で消費金額は全国最低水準にあり、アジア経済圏の消費者をターゲットに県内誘客・県産品の認知拡大を促進するため、(株)JTBと連携し、マーケティング調査を実施した。

平成30年度は、消費者の千葉県に対する観光／購買ニーズを探り、次の施策に繋がるデータの収集・分析を目的に現地消費者調査を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、プロモーション等は令和元年以降、見合わせることにした。

【平成30年度】

オンラインによるアンケート・ヒアリング調査（2/1～22, 3/8～22）

日本で利用した空港、宿泊した地域、千葉県内観光スポットの認知度や訪問意向、県産品の購買経験や購入意向等について調査を実施した。

①調査国 6か国（台湾、香港、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム）

②調査対象 FUN! JAPAN（現地消費者コミュニティサイト）会員

（集計サンプル数）

	台湾	香港	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム
アンケート	980	924	713	988	1,592	355
ヒアリング	151	79	85	56	108	34

【令和元年度】

「アジア経済圏におけるマーケティング調査」（7/18）

（第1回県内経済活性化ビジネスセミナー）

前年度の調査結果に基づき講演を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、更なる調査やプロモーションの実施は見合わせた。

（1）セミナー

（ア）「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査」

講師 (株)ちばぎん総合研究所調査部長 関寛之氏

（イ）「アジア経済圏におけるマーケティング調査」

講師 (株)JTB千葉支店支店長 藤川誠二氏

(株)Fun Japan Communicationsディビジョンリーダー

安原暢郎氏

2-2 アクティビティ（体験型）商品開発

千葉県内へのインバウンド誘客を図るため、㈱Orangeと連携し、アクティビティ（体験型）商品の新たな開発を目指す会員を公募した。商品化に向けた磨き上げを行うべく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、在日外国人モニターの参加を得て、モニターツアーを実施した。令和4年度は、4年間の活動で得た知見やノウハウを会員へ共有すべく、報告会を開催した。

【平成30年度】

事業者の公募（11/19～12/12）

本事業を通じアクティビティ（体験型）商品の開発や磨き上げを行いたい会員の公募を実施し、本採択事業者4会員、連携事業者2会員を選定した。

【令和元年度】

モニターツアー（11/15, 1/7）

- (1) 芝山町（みどりと空のプロジェクト）11/15
- (2) 千葉市（ケアグリーン）1/7



芝山町でのそば打ち体験



千葉市での殺陣体験

【令和2年度】

モニターツアー（11/25, 3/4）

- (1) 芝山町（みどりと空のプロジェクト）11/25
- (2) いすみ市（ツーリズムいすみ）3/4



芝山町で芝山仁王尊を拝観



芝山町での陶芸体験

【令和3年度】

モニターツアー（12/3, 1/21）

- (1) いすみ市（ツーリズムいすみ）12/3
- (2) 横芝光町 1/21



いすみ市で津々ヶ浦をサイクリング



横芝光町での味噌づくり体験

【令和4年度】

オンライン報告会（9/14）、レポートの作成

- (1) 平成30年度から令和3年度に実施した内容についての報告会（9/14）を開催した。
- (2) 同内容についてのレポートを作成し、会員専用HPへ展開した。



オンライン報告会の様子



レポート（全41頁）

2-3 航空／空港関連企業との商談会

航空／空港関連企業と県内企業とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現を図るため、食品に関する商談会を実施した。

商談の質を上げ成約を後押しするため、事前説明会やアフターフォローの実施等を通じ、参加者支援を行った。

【平成30年度】

おいしい千葉と空の商談会2019春（3／19）

日本航空(株)の協力のもと、日本航空関連企業をバイヤーとして商談会を行った。



あいさつする日本航空(株)藤田副社長



商品を試食する森田知事

【令和元年度】

おいしい千葉と空の商談会2019夏（7／31）

全日本空輸(株)の協力のもと、全日本空輸関連企業をバイヤーとして商談会を行った。



役員による激励の様子



あいさつする全日本空輸(株)志岐副社長

【令和2年度】

おいしい千葉と空の商談会2021春（3／9）

日本航空(株)、全日本空輸(株)の協力のもと、関連企業をバイヤーとして商談会を行った。
新型コロナウイルス感染症の影響により、試食や展示商談の実施は見送った。



個別商談の様子



展示ブースの様子

【令和3年度】

おいしい千葉と空の商談会2022冬（1／18）

全日本空輸(株)、日本航空(株)の協力のもと、関連企業をバイヤーとして商談会を行った。
新型コロナウイルス感染症の影響により、試食の実施は見送った。



挨拶する佐久間会長



展示商談の様子

【令和4年度】

おいしい千葉と空の商談会2022秋（11／1）

日本航空(株)、全日本空輸(株)の協力のもと、関連企業をバイヤーとして商談会を行った。



個別商談の様子



視察後の集合写真

2-4 ランドオペレーターとの商談会

成田空港を利用した千葉県への訪日外国人旅行客の増加を目指し、東アジアや東南アジア向けの手配を手掛ける国内ランドオペレーターと、観光・宿泊・交通事業に係わる県内企業・市町村との商談会を実施した。第1期（平成27年度～）に引き続き、千葉インバウンド促進協議会との共催により実施した。

【平成30年度】

ランドオペレーターとの商談会（2／25）

成田市内にて商談会・交流会を行った。



商談の様子



交流会の様子

【令和元年度】

ランドオペレーターとの商談会（1／28）

館山市内にて商談会・交流会を行い、モニターツアーを開催した。



商談会の様子



モニターツアーの様子

【令和2年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。

【令和3年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。

【令和4年度】

ランドオペレーターとの商談会（2／16）

千葉市内にて商談会・交流会を行った。



商談会の様子



交流会の様子

2-5 千葉県観光商談会（北海道）

北海道から千葉県への、成田空港・LCCを利用した来訪促進や旅行商品の造成等を図るため、北海道の旅行会社と県内観光事業者等との観光商談会を実施した。

（公社）千葉県観光物産協会と連携し、成田―新千歳便を運航するLCC3社（ジェットスター・ジャパン(株)、スプリング・ジャパン(株)、Peach Aviation(株)）の参加・協力を得て実施した。

【令和3年度】

千葉県観光商談会（北海道）（11/17）

札幌市内にて商談会を実施した。



商談の様子



交流会の様子

2-6 CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進

千葉県主催の「ちば起業家ビジネスプラン・コンペティション（CHIBAビジコン）」に協賛し、成田空港活用協議会賞を授与することにより、起業家に対し、成田空港を活用した新規ビジネス創出の機運を醸成すべく実施した。

【令和元年度】

成田空港活用協議会賞の授与（1／30）

受賞者 株式会社 蜂蜜工房 井嶋幸裕 氏
受賞プラン 日本初「ミード専門ワイナリー」



協賛企業及び受賞者記念写真

（ちば起業家応援事業ホームページより）

【令和2年度】

成田空港活用協議会賞の授与（1／10）

受賞者 株式会社 さつまいもの石田農園 石田 湧大 氏
受賞プラン 「日本一の、最高級の芋。」を生み出す技術が新たな市場を作る



株式会社 さつまいもの石田農園 石田 湧大

オンラインプレゼンの様子

2-7 訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト

ハラールやベジタリアン等に対応した多様な食事が提供される環境を整備し、誰もが「千葉の食」を楽しめる「おもてなし」を創出することを目的に、(株)みんなのごはんと連携し、県内の飲食店や食品事業者に対し、ノウハウの取得や事業化に向けた支援・PR活動を行った。

【令和元年度】

(1) ちばの『おもてなし』食フォーラム(9/27)～食のダイバーシティ先進地ちばを目指して～
千葉市内にてセミナーを開催した。

(ア)「ムスリムへのおもてなし」

講師 千葉市観光プロモーション課長 桜井篤氏
(株)G-BIZ EAST代表取締役社長 松本範昭氏

(イ)「ベジタリアンへのおもてなし」

講師 (株)みんなのごはん代表取締役 岩溪寛司氏

(ウ)「ハラール・ヴィーガン料理試食&懇談会」

講師 ホテルスプリングス幕張総料理長 藤間高志氏



セミナーの様子



試食・懇親会の様子

(2) おもてなしチャレンジミーティング

他団体主催のミニセミナーと連携し、事業者に対し、事業化促進支援を行った。

(ア) 第1回 千葉県主催(11/8)

議題 「ベジタリアンって何？」他

(イ) 第2回 千葉市主催(11/14)

議題 「ムスリム&ベジタリアン対応店舗を増やそう！」他

(ウ) 第3回 千葉県主催(2/10)

議題 「ベジタリアン対応とベジアイコンプロジェクト紹介」他

(3) ベジアイコンの制作

対応製品をわかりやすく表示するアイコンをデザインし、食品製造事業者に提供した



(4) ベジタリアン・ムスリムフレンドリー製品の展示・販売

県内事業者と連携し、ショッピングセンター等にブースを出展しPRを行った。

(ア) (11/21~23) KITTE内 千葉県アンテナショップ

(イ) (1/20~3/31) 千葉ペリエ

(ウ) (1/20~3/31) 成田空港第一ターミナル内 千葉トレードセンター

(エ) (3/20) 道の駅多古あじさい館



展示ブースの様子



イベントスペースでのプロジェクト紹介

(5) 千葉県の食の多様性をPRするポスターの掲出 (3/10~13)

JR海浜幕張駅と近隣ショッピングセンター10か所に掲出した。

(6) プロジェクトサイトの制作

本プロジェクトを広く紹介するため、ホームページを制作した。

【令和2年度】

(1) ベジアイコンの普及促進

令和元年度に制作した「ベジアイコン」の普及促進を図るため、適合製品を製造する事業者
にアイコンを提供した。 登録状況 10事業者(44商品)。

(2) 販売拠点の整備

ベジタリアンフレンドリーの県産品を展開し、協力店舗(2カ所)の整備等を行った。

(ア) 道の駅多古あじさい館(7/22より常設)

※ベジタリアン定食の提供は、全国道の駅初。

(イ) フレッシュマートおおくぼ(新規、8月より展示・販売開始)

(ウ) そごう千葉店期間限定ショップ(10/27~1/25)

(3) 道の駅多古あじさい館『ヴィーガン定食』PRの実施(7/29)

ヴィーガンのモデルを招聘して売り場見学や試食等を実施し、メディア取材に応じた。



売り場見学の様子



ヴィーガンメニューの試食

(4) カフェレス・ジャパンへの出展(10/5~7)

カフェレス・ジャパン(日本最大級のカフェ・レストラン専門展)にブースを出展した。



売場見学の様子

2-8 脱炭素社会推進支援事業

県内企業において脱炭素への取組が遅れており、その主な理由が脱炭素に取り組むノウハウの不足であることを踏まえ、脱炭素を進めるに当たっての基本的事項、具体的な脱炭素の進め方、取組事例等を取り上げることにより、会員の脱炭素に向けた取組を支援するため、セミナーを開催した。

【令和4年度】

脱炭素社会推進支援セミナー

日 時：令和5年2月22日（水） 13時30分～16時30分

場 所：TKPガーデンシティ千葉 4階コンチェルトA

参加者：会場参加者 22名

オンライン参加者 46名（申込者数）

内 容

○第1部：講演

①地域脱炭素の実現に向けて一脱炭素を進めるにあたっての基本的事項—

講師 環境省関東地方環境事務所 地域脱炭素創生室（放射能汚染対策課長）

和田 直樹 氏

②千葉県の脱炭素の取組や県の補助金について

講師 千葉県 環境生活部 温暖化対策推進課 企画調整班 副主幹

宮腰 克広 氏

③カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ

講師 一般財団法人省エネルギーセンター 省エネ技術本部 省エネ技術センター長

藤林 晃夫 氏

④千葉銀行の脱炭素の取組や県内企業の脱炭素の取組

講師 株式会社千葉銀行 法人営業部 成長ビジネスサポート室 室長

羽山 明 氏

○第2部：意見交換及び名刺交換（会場参加者のみ）



講演する和田氏



意見交換の様子

3 県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業

3-1 日本遺産等を活用した誘客促進

日本遺産等の地域資源や地域の魅力を活用し、千葉県内の交流人口拡大と訪日外国人旅行客の誘客に向けたツアー造成を目的とし、日本遺産「北総四都市江戸紀行」に認定された4市にてモニターツアーや誘客プロモーションを実施した。

【令和元年度】

(1) モニターツアー

(ア) 佐倉市 (11 / 29)

(イ) 成田市 (1 / 24)



ひよどり坂を散策 (佐倉市)



ガイドによる成田山新勝寺の案内 (成田市)

(2) 誘客プロモーション (12 / 12 ~ 2 / 3)

パナソニックの写真コミュニティサイト「LUMIX CLUB PicMate」上に特設ページを開設し、佐倉市・成田市の写真に拍手・コメントをしてもらうユーザー参加型企画を実施した。



特設ページ

【令和2年度】

(1) モニターツアー（11/29）香取市



水郷佐原の町並み散策



酒蔵での試飲

(2) 誘客プロモーション（9/10～12/25）

パナソニックの写真コミュニティサイト「LUMIX CLUB PicMate」上に特設ページを開設し、香取市・銚子市の写真に拍手・コメントをしてもらうユーザー参加型企画を実施した。



【令和3年度】

モニターツアー（2/14, 2/15）

銚子市 ※日帰りで2日程実施



限定公開された圓福寺「釈迦涅槃堂」



屏風ヶ浦の散策

3-2 地方創生と連動したDMO養成塾

地方創生に有効な取組みとして、DMO（観光地域づくり法人）を核とした本来あるべき組織体制を理解し、持続的な地域経営ノウハウを確立する講座をシリーズで開催した。

【令和元年度】

第1回講座（3／18）（第2回県内経済活性化ビジネスセミナー）

（1）セミナー

「持続可能な地域経営に向けて何をすべきか」

講師 J T I C . S W I S S 代表 山田桂一郎 氏



水野参与による主催者挨拶



山田氏の講演

【令和2年度】

DMO養成塾

内閣官房地域活性化伝道師・観光カリスマである山田桂一郎氏を統括講師に招き、持続的な地域経営ノウハウを確立することを目的に、計6回の講座と先進事例調査を実施した。

（1）講座6回：臨時会議

（ア）第1回講座（8／18）

「DMO等養成塾について」

講師 成田空港活用協議会事務局長 澁谷博之 氏

「新型コロナウイルスによる地域経済への影響と対応状況」

講師 (株)ちばぎん総合研究所調査部担当部長 小松孝之 氏

「DMO 養成塾について」

（イ）第2回講座（9／10）

「多様な主体の参加、自主財源の確保と域内の経済循環の確立」

講師 J T I C . S W I S S 代表 山田桂一郎 氏

観光庁観光地域振興課広域連携推進室長 檜垣敏 氏

(ウ) 第3回講座 (12/11)

「観光資源の磨き上げと受入態勢～現状とその課題・その解消～」

講師 J T I C . S W I S S 代表 山田桂一郎 氏

(株)インアウトバウンド仙台・松島代表取締役 西谷雷佐 氏

(エ) 第4回講座 (1/20)

「旅行者目線に立った二次交通等交通アクセスの整備」

講師 J T I C . S W I S S 代表 山田桂一郎 氏

復興庁復興五輪推進チーム企画官 三重野真代 氏

京成電鉄(株)グループ戦略部交通サービス担当課長 林 祐 悟 氏

(オ) 第5回講座 (2/9)

「専門人材の確保と人材育成によるコンテンツ開発」

講師 J T I C . S W I S S 代表 山田桂一郎 氏

観光庁観光地域振興部観光資源課新コンテンツ開発推進室長 中谷純之 氏

(カ) 第6回講座 (3/26)

「日本版持続可能な観光ガイドラインに取り組むべき7つの理由」

講師 J T I C . S W I S S 代表 山田桂一郎 氏

観光庁観光地域振興部長 村田茂樹 氏

(2) 先進事例調査 (10/25~27)

視察先：宮城県気仙沼市

講師：J T I C . S W I S S 代表 山田 桂一郎 氏

内容：気仙沼におけるDMOの取組みの紹介及び現地観光施設視察

協力：(一社)気仙沼地域戦略、(一社)気仙沼観光コンベンション協会

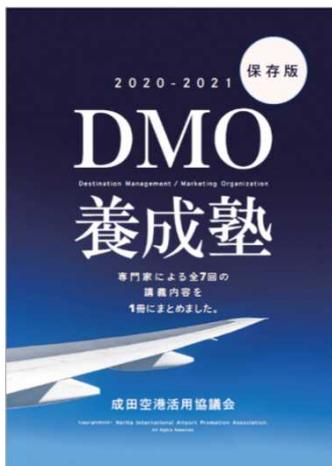


気仙沼市視察の様子

【令和3年度】

(1) 報告書の作成

令和元年度、2年度を通じて実施した全7回にわたるDMO養成塾の内容を、統括講師の山田桂一郎氏の監修により「報告書」としてとりまとめ、会員へ展開した。



報告書 オールカラー62ページ

(2) 報告会 (3 / 3)

作成した報告書をもとに活動内容を振り返り、その成果を今後はどう活かしていくか意見交換し、共有する場として報告会を開催した。

・ 報告会プログラム

(ア) 主催者挨拶／基調講演

「2022年の夢－超長期を展望した新たなスタート」

講師 参与／(株)ちばぎん総合研究所取締役会長 水野 創 氏

(イ) 講演

「地域の観光づくり～暮らしの足・観光の足を担う自家用有償旅客運送～」

講師 (株)Glocal Innovation Holdings 代表取締役社長

ツーリズムいすみCMO

山内絢人 氏

(ウ) 意見交換

「DMO養成塾の活動成果の振り返りと今後の展開に向けた意見交換」

進行 経済活性化部長／(株)ちばぎん総合研究所調査部担当部長 小松孝之 氏



報告会の様子



水野参与による講演

3-3 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上 及び近隣エリアへの誘客

空港近隣エリアへの誘客を促し交流人口を拡大することを目的として制作した。新型コロナウイルス感染症の影響を受け展示場所が閉鎖されたことにより、展示は長期にわたり中断した。

【令和元年度】

展示品の制作と展示（3/12～）

国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」の高精細画像をもとに、ファブリック素材とLEDバックライトの照射により、紙よりも鮮やかな色再現が得られる「光る江戸図」を製作した。

4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の解説用ICT機器と併せて、成田国際空港第2ターミナル出国手続き後エリア「NARITA SKY LOUNGE 和」内にて展示を開始した。



展示の様子



解説用ICT機器：国立歴史民俗博物館3Dキャラクター「もみちゃん」とコミュニケーションロボット「Sota」

【令和2年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示場所が閉鎖された。

【令和3年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示場所の閉鎖が続いた。

【令和4年度】

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示場所の閉鎖が続いた。

3-4 成田空港・周辺地域と連携したワーケーション・テレワーク推進事業

成田空港を起点としたワーケーション・テレワークの推進を図り、関係人口創出を通じた地域活性化を目指す。

※ワーケーション：Work と Vacation を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場とは異なる場所で仕事を継続しながら、地域での活動も行うこと。

【令和4年度】

ウィズコロナの観点から、国内で浸透しつつあるワーケーション・テレワークの取組について、成田空港を起点に県内へ推進する。将来的には、成田空港経由のワーケーション誘客による関係人口創出をねらいとする。

(1) セミナー (10/25)

場 所：成田市文化芸術センタースカイタウンホール3階多目的ホール

参加者：19名

内 容

○第1部：セミナー

(ア)「近畿日本ツーリストのワーケーションへの取組について」

講師 近畿日本ツーリスト(株)千葉支店 小宮 めぐみ 氏

(イ)「ワーケーションの現状・他地域の取組等について」

講師 (一社)日本テレワーク協会 主席研究員 大沢 彰 氏

(ウ)「ワーケーション トークセッション」

(一社)日本テレワーク協会 主席研究員 大沢 彰 氏

(一財)地域活性化センター シニアフェロー 箕浦 龍一 氏

(エ)「千葉県『ちばワーケーション受入促進事業』について」

講師 千葉県商工労働部観光企画課魅力ある観光地づくり推進班
高梨 健太 氏

○第2部：情報交換会 (エリアや業種ごとに実施)



セミナーの様子



情報交換会の様子

4 東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業

4-1 ユニバーサルツーリズムの推進

東京オリンピック・パラリンピックへの対応や高齢者層の増加を見据え、需要の高まりが想定されるユニバーサル対応への機運を醸成するとともに、新たな商機につなげるため、(公社)千葉県観光物産協会と連携し、セミナーやモニターツアー等を実施した。

【平成30年度】

(1) 座学セミナー (7 / 13)

テーマ：「ユニバーサルツーリズム」という考え方

国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る

講師：KNT-CTホールディングス(株)事業戦略統括部課長 淵山知弘 氏

体験：障がい者サポートガイドの解説 (東京2020組織委員会資料)

車いす、アイマスクを使用した疑似体験 (千葉市内)

(2) フィールドワーク (9 / 28)

行程：佐原町並み交流館⇒小野川周辺⇒香取神宮

(3) モニターツアー (3 / 7)

行程：成田山新勝寺⇒マロウドインターナショナルホテル成田⇒さわら雛めぐり

参加者：視覚障がいをお持ちの方、車いすをご利用の方など



フィールドワークの様子



モニターツアーの様子

【令和元年度】

(1) 座学セミナー・フィールドワーク (9/5)

テーマ：「ユニバーサルツーリズム」という考え方

国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る

講師：KNT-CTホールディングス(株)事業戦略統括部課長 瀧山 知弘 氏

体験：障がい者サポートガイドの解説（東京2020組織委員会資料）

車いす、アイマスクを使用した疑似体験（館山市内）

(2) モニターツアー (10/24)

行程：JR千葉駅⇒漁師料理たてやま（昼食）⇒渚の駅たてやま（砂浜用車いすに乗って
浜辺体験・海釣り体験）⇒道の駅とみうら⇒JR千葉駅

参加者：視覚障がいをお持ちの方、車いすをご利用の方など

(3) 事後フォロー勉強会 (12/6)

内容：館山市にて地元商工会議所を交え、今後のユニバーサルツーリズム受入態勢などについて意見交換を行った。



座学セミナーの様子



モニターツアーでの砂浜体験

【令和2年度】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインを利用して開催した。

(1) オンラインセミナー（11／20）

テーマ：共生社会・超高齢化社会において、観光関連施設は、どこまでバリアフリー対応しなければならないのか？

講師：(株)近畿日本ツーリスト首都圏ユニバーサルツーリズム推進担当 伴流高志 氏

(2) オンラインモニターツアー（2／23）

テーマ：手話でご案内する「エンジョイ館山ツアー」

行程：イントロダクション⇒館山ツアー（VTR）⇒ウミホテル発光体験（LIVE配信）

参加者：聴覚障がいをお持ちの方

(3) 事後フォロー勉強会（2／24）

内容：初めての試みとなったオンラインツアーを振り返りながら、ユニバーサルツーリズムの推進と今後の実践について意見交換を行った。



事後フォロー勉強会の様子（オンライン併用）

4-2 競技開催地とホストタウン等が連携した情報発信・観光誘客等の促進

東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、成田空港を利用する訪日客等を対象に、競技開催地やホストタウン等の関係自治体の認知度向上を図り、観光誘客等を促進するため、ホストタウンの紹介映像を制作し、放映を行った。

【令和元年度】

ホストタウン紹介映像の制作

翌年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、ホストタウンの紹介映像を制作した。空港内のデジタルサイネージで放映することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による訪日客の落込み等を受け、放映を見合わせた。

【令和2年度】

ホストタウン紹介映像の放映

東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定したため、ホストタウンにおける機運醸成を目的に、各自治体の公共施設等において放映を行った。

【令和3年度】

ホストタウン紹介映像の放映

東京オリンピック・パラリンピックの無観客開催の決定を受け空港内での映像放映は見送り、開催期間に合わせ、各自治体の公共施設等及び商業施設において放映を行った。

放映自治体：松戸市、木更津市、君津市、いすみ市、山武市

期 間：令和3年5月1日～9月5日（商業施設は7月19日～23日）



君津市役所での放映



イオンモール幕張新都心における放映

5 県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業

5-1 将来的な人材育成を行うための調査・検討

今後、成田空港の機能強化により、航空機発着枠が現行の30万回から50万回へと拡大されると、成田空港の関連企業は、人手不足、雇用確保の問題に直面することが予想される。そこで、成田空港関連企業の雇用拡大に向けて、雇用ニーズ調査などを行った。

【平成30年度】

成田空港関連企業の雇用ニーズ調査

成田空港関連企業の雇用拡大に向けた今後の課題や方向性を探るため、基礎調査として「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査」を実施した。

(1) 目的

成田空港の雇用各拡大に向けた基礎調査として、空港関連企業の雇用ニーズ及び県内教育機関の成田空港に対する期待及び連携の可能性等を明らかにし、今後の課題や方向性を探る。

(2) 調査期間：平成31年2月～3月

(3) 調査方法

(ア) アンケート調査

対象：成田空港関連企業 542社

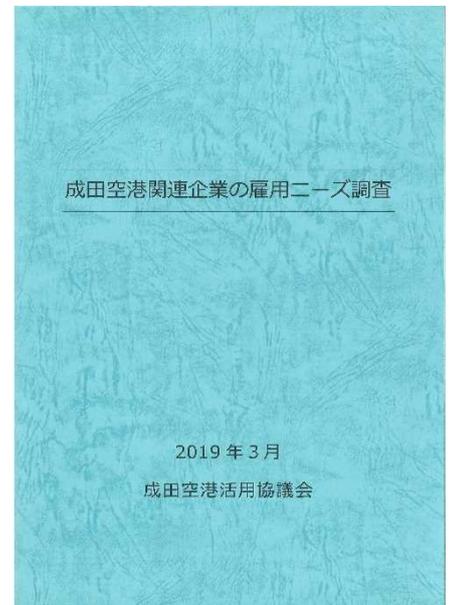
(うち有効回答数 133社)

(イ) ヒアリング調査

対象：県内教育機関 4校(大学2校、高校2校)

(4) 調査結果から見えてきた点

- ・業況の改善傾向もあり、企業側の人手不足感が強まっている。
(約7割の企業が経営上の課題として「人手不足(技術者以外)」を挙げた。)
- ・2017年度の大学生の就職内定率は、ほぼ100%の売手市場。県内よりも賃金水準の高い都内企業への就職を目指す学生が増えている。
- ・高校生も、就職希望者にとって完全な売手市場。企業の求人意欲が強まる中、より良い条件の企業を選択する生徒が増えている。



【令和元年度】

前年度に作成した雇用ニーズ調査について、第1回県内経済活性化ビジネスセミナーで、その概要を詳しく説明し、成田空港関連企業の雇用促進に向けたコンソーシアムの形成や雇用不足感が強まる業種・職種の「見える化」など5つの事項について提言した。

(1) 県内経済活性化ビジネスセミナー (7/18)

場 所：オークラ千葉ホテル 3階エリナーゼ

内 容：①「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査」

講師 (株)ちばぎん総合研究所調査部長 関 寛 之 氏

②「アジア経済圏におけるマーケティング調査」

講師 (株)JTB千葉支店支店長 藤川誠二 氏

(株)Fun Japan Communicationsディビジョンリーダー

安原暢郎 氏

参加者：153名

5-2 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

空港関連企業の雇用確保に向けて、企業と教育機関との意見交換・情報交換の場を設けるなど、企業と教育機関との連携を図り、両者が、共有した課題の解決に主体的に取り組めるような状況の創出を図った。

【令和元年度】

(1) 大学との対話（10／8）

場 所：NAA ビル内・会議室

出席者企業：成田国際空港株式会社

教育機関：敬愛大学、城西国際大学

行 政：千葉県総合企画部空港地域振興課

議 題：①空港の機能強化に伴う雇用問題の提起

②各主体の取組

③意見・情報交換

(2) 専門学校、高等学校との対話

令和2年3月、空港関連企業（3社）と専門学校・高等学校（3校）との対話の場を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、開催を見送った。

【令和2年度】

新型コロナウイルスの感染拡大のため、開催を見送った。

【令和3年度】

(1) 専門学校、高等学校との対話（11／24）

場 所：成田ビューホテル

出席者企業：(株) インテックス、(株) NAA リテイリング、(株) ティーエフケー

教育機関：松尾高校、横芝敬愛高校

オブザーバー：成田国際空港（株）、千葉県総合企画部空港地域振興課

議 題：①コロナ禍の雇用状況

②コロナ後の航空需要回復を見据えた雇用確保

③空港機能強化後の人出不足

意 見 等：①新型コロナの拡大以降、空港・航空業界を希望する生徒は少ない。

②企業側も、コロナによる業績悪化で、採用は激減している。

③今後、コロナの収束や空港の機能強化の進展により、人手不足が予想されるので、それに向けた対応が必要。

④高校生の採用は、保護者の意見に左右される。また、航空／空港関連への生徒の就職には、高等学校の進路指導の先生の理解が必要。ぜひ仕事の現場を保護者や先生に知ってもらう必要がある。



懇談会の様子

(2) 高校への出張授業

高校校生に航空・空港関連企業を就業先の選択肢としてもらえるよう、高校に航空／空港関係の実務経験のある講師を派遣し、航空／空港関連業種への興味や関心を高めてもらうための出張授業を開催した。

(ア) 県立松尾高等学校における出張授業 (3 / 16)

会 場：松尾高等学校視聴覚室

講 師：成田航空ビジネス専門学校 広報部長 石井美帆 氏

内 容：航空／空港業界での仕事について、特に高校卒業時に採用のある職種（エア
カーゴやグランドハンドリング、検閲官など）を中心に授業を行った。

参加者：生徒25名

(卒業後就職を希望する2年生や、航空／空港業界について興味のある1、2年生)



出張授業の様子

【令和4年度】

(1) 高校へのお出張授業

前年の出張授業が好評だったことから、引き続き高校生を対象とした授業を行った。

(ア) 千葉敬愛高等学校 (11 / 7)

会 場：千葉敬愛高等学校 3階マルチホール

内容・講師：①「WORK at NARITA AIRPORT」

(株)Flact

②「JAL現役グランドスタッフによる航空出張授業～空港で活躍するグランドスタッフ」

(株)JALスカイ グランドスタッフ

参加者：生徒32名

(進学を希望し、航空／空港業界の話について聴講を希望する1・2・3年生)



出張事業の様子

(イ) 千葉県立匝瑳高等学校 (12 / 21)

会 場：千葉県立匝瑳高校 2階 化学講義室

内容・講師：①「WORK at NARITA AIRPORT」

(株)Flact

②「空港で働くANA現役社員による航空出張授業」

ANA 成田エアポートサービス(株)

グランド・グランドハンドリングスタッフ

参加者：生徒30名

(進学を希望し、航空／空港業界の話について視聴を希望する1・2年生)



出張事業の様子

(ウ) 八千代松陰中学校・高等学校 (2 / 18)

会 場：八千代松陰中学校・高等学校 教室

内容・講師：①「WORK at NARITA AIRPORT」

(株)Flact

②「JAL現役グランドスタッフによる航空出張授業～空港で活躍するグランドスタッフ」

(株)JALスカイ グランドスタッフ

参加者：生徒21名

(進学を希望し、航空／空港業界の話について視聴を希望する中学1・2・3年生、高校1・2年生)



出張事業の様子

(エ) 千葉県立松尾高等学校 (3 / 16)

会 場：千葉県立松尾高等学校 視聴覚室

内容・講師：①「WORK at NARITA AIRPORT」
(株)Flact

②「日本と世界を結ぶ、貨物のお仕事」

国際航空上屋(株) 貨物業務担当者

参加者：生徒27名

(高校卒業後就職を希望する2年生、航空／空港業界の話について視聴を希望する1・2年生)



出張事業の様子

5-3 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業

航空／空港関連業種の一部は現在も人手不足が問題となっているが、成田空港の更なる機能強化に伴い、これら業種の需要は一層高まるものと想定されており、各企業、業界における人材確保策が課題となっている。こうした中、航空／空港業界の人材育成・確保を図るため、県内高校生及び進路指導担当者を対象とした「体験型航空教室」を実施した。

【令和3年度】

航空／空港に関連する様々な仕事・職を知ってもらうため、一般的な航空教室に加え、人材不足が課題となる職種にスポットを当てた施設見学や現場職員を交えた座談会など、航空現場の様々な魅力ややりがいを発信することにより、航空関連企業への就職意識の向上を目指し、日本航空株式会社及び全日本空輸株式会社協力のもと、以下のとおり開催した。



成田空港活用協議会 主催 JAL体験型航空教室開催のご案内

飛行機のお仕事まるごと体験！

日本航空(JAL) 全面協力！

ホームベースはこちら！

JAL体験型航空教室

開催日 **2022年2月27日(日)** 参加費 **無料**

【募集人数】千葉県内高校生限定120名(各校10名を上限に募集します。)応募者多数の場合は、抽選となります。

【申込方法】生徒の皆さんは、学校(先生)を通じてお申し込みください。(先生は、令和4年1月28日(金)迄にメールで御提出ください。)

【参加費用】無料(ただし、現地までの交通費は自己負担となります。)

成田空港内プロアマップ・集合場所

JAL体験型航空教室～飛行機のお仕事まるごと体験！～

- 集合場所：成田空港 国内線カウンター前 9:00集合
- 解散場所：成田空港第1ターミナルビル1F 16:45解散
- プログラム(案) (詳細は要綱をお送りいたします。)
- ガイダンス～チェックイン実動体験(成田成田センター)～
- アタラシ体験(搭乗口)～機内乗組員～機内乗組員～
- フライト内観(バスツアー)～グラウンドハンドリング見学～
- オペレーションセンターにて現況・現場スタッフと座談会など

(お問合せ先)
成田空港活用協議会事務局
TEL:043-308-2411 FAX:043-308-2412
e-mail: info@nrt-promo.jp

募集チラシ (JAL)



ANA体験型航空教室 ANA

～ 成田空港のお仕事ってなんだろう？～

レストランFLYING HONUも体験！

成田空港活用協議会とANAでは、成田空港で働く人材の育成・確保を目的として、県内高校生を対象とした「体験型航空教室」を実施致します。この体験型航空教室は、高校生の皆様に空港の様々な仕事・職を知り、関心を持っていただき、空港関連企業への就業意識の向上につなげることを目的とするものです。航空会社のお仕事は、パイロットやキャビンアテンダントの仕事だけでなく、チェックイン業務、貨物の積み下ろし、機体整備など様々な地上業務などがあります。今回は、貨物の積み下ろしをしているグラウンドハンドリングを主に見学します。キャリア教育の一環として、ぜひこの機会にご参加ください。

開催日：①2022年2月20日(日) ②2022年3月5日(土) ③2022年3月20日(日)
(各日で実施内容は異なります。いずれか一日に参加頂けます) スケジュール

08:30～08:45 成田空港第1ターミナル「ANA成田スカイセンター」2階受付集合
09:00～10:30 ANA航空教室(グラウンドハンドリングのお仕事について・マーシャリング(飛行機の誘導)体験)
10:30～11:15 搭乗手続き及び保安検査後、バスにて機内へ移動
11:40～13:20 ※1機目のFLYING HONUに搭乗。機内食をお楽しみください
13:45～14:15 ※2機目に戻り換装、機内の見学を実施。ファーストクラスを含む全座席の見学・体験
14:25～15:15 空港で働く特殊車両見学・航空機貨物室内を見学
15:30～16:00 解散
※11:40～14:15は「レストランFLYING HONU」を体験いただけます。エコノミークラス機内食(イメージ)当日他のお客様も参加しますのであらかじめご了承ください。

■募集人数：定員90名(1回30名×3回)定員を超えた場合は、抽選となります。結果は学校を通じてお知らせします。各校10名を上限に募集(進路指導担当の先生も1名参加できます)

■参加費用：無料(現地までの交通費は自己負担となります)

■応募期間：令和4年1月11日(火)～1月28日(金)

■申込方法：生徒の皆さんは、学校(先生)を通じてお申し込みください。先生(進路指導担当)は、各校の参加希望者をお取りまとめの上、所定のフォームにて以下の宛先へメールで御提出ください。(2022年1月28日(金)締切) (別紙「予約から実施までの流れ」を参照ください)

提出先: info@nrt-promo.jp (成田空港活用協議会事務局宛で)

■集合場所：成田空港第1ターミナルANA成田スカイセンター2階受付前 →

募集チラシ (ANA)

- 募集人数：210名 (JAL120名、ANA90名)
- 申込者数：300名 (男性81名 女性219名、うち先生9名)
- 参加者数：206名 (男性72名 女性134名 うち先生9名)
- 参加高校数：40校 (公立28校125名、私立12校81名)

申込みのあったすべての高校から1名以上参加。空港周辺9市町からは5校19名。

(1) 日本航空株式会社 (JAL) 協カイベント

【実施日時】：令和4年2月27日 (日) 9時～17時

【開催場所】：成田国際空港第2旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：34校119名 (男性39名、女性80名、うち先生8名)

【当日のスケジュール】：

時間	実施内容
9:00	集合・ガイダンス
9:15～	国内線カウンターでチェックイン体験
10:30～	搭乗口でアナウンス体験 ・飛行機の出発時間や搭乗案内を実際の搭乗ゲートでアナウンス
11:00～	周遊フライトへの搭乗・出発 ・冒頭、事務局から本日の趣旨等について説明 ・機内ではJALスタッフ (機長、CA、整備士) による仕事紹介など ・昼食では機内食を実食
13:45～	ランプ内周遊バスツアー (グランドハンドリングの現場見学) ・グランドハンドリングの現場をスタッフの説明とともに間近で見学 (航空機の機体清掃、貨物の積み下ろし、特殊手荷物の輸送 等)
15:15～	・JALグループ各社現役スタッフ等による座談会 (JALスカイ、JALグランドサービス、JALロイヤルケータリング、 JALカーゴサービス、JALエンジニアリング 等)
17:00	解散



チェックイン業務体験の様子



搭乗口でのアナウンス体験の様子



機内アナウンス体験の様子



座談会の様子 (JAL カーゴサービス)

(2) 全日本空輸株式会社 (ANA) 協力イベント

【実施日時】：第1回 令和4年2月20日（日） 9時～15時30分

第2回 令和4年3月5日（土）（※内容は第1回と同様）

第3回 令和4年3月20日（日）（ 〃 ）

【開催場所】：成田国際空港第1旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：27校87名（男性33名、女性54名、うち先生1名）

【当日のスケジュール】

時間	実施内容
8:45	集合
9:00～	ANA 仕事紹介 ・グランドハンドリングを中心に航空業界全体の業務を紹介 ・地上業務の一端を感じるためマーシャリング（航空機誘導）を体験
11:40～	A380FLYING HONU 搭乗体験 ・機内食を実食、機内では航空に関する動画を放映
13:45～	A380FLYING HONU 機内見学 ・機内構造を詳しく学べるほか、エコノミークラスからファーストクラスまでのシートを体験
14:25～	特殊車両・航空機貨物室の見学 ・ANA 仕事紹介で学んだ内容について実機を通じて理解を深めるため、グランドハンドリングスタッフによる説明のもと、様々な特殊車両や航空機貨物室内を見学
15:30	解散
キャリア相談会（オンライン）	今後の進路に悩んでいる生徒や航空業界を目指す方を対象に、後日、ANA スタッフとの個別相談会（オンライン）を開催。



ANA 仕事紹介の様子



マーシャリング体験の様子



バラ積み貨物室



機体周りを見学

【令和4年度】

空港の様々な仕事・職を知り、関心を持ってもらい、空港関連企業への就業意識の向上を図るため、通常では立ち入ることの出来ない制限エリア（ランプ内）や実機等を使用して、特別感のある様々な体験を実施した。また、座談会は、航空関連企業への理解を深めるため、現在も人材不足が問題となっている職種や普段目にする機会の少ない裏方のスタッフも加わって行った。



エアライン 日本航空株式会社 (JAL) 定員 80名

SCHEDULE

9:00 集合・ガイダンス
成田空港第2ターミナル (JAL オペレーションセンター内)

9:45 **Aグループ** ①②
ランプ内周遊バスツアー・出発機お見送り体験
Bグループ ③④
◎グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験等
◎航空機整備工場見学

11:30 昼食 (JAL 機内ランチボックス)
リクライニング

13:15 **Aグループ** ①②
ランプ内周遊バスツアー・出発機お見送り体験
Bグループ ③④
◎グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験等
◎航空機整備工場見学

15:00 JALグループスタッフとの座談会等
JAL オペレーションセンター

16:30 解散

※1 天候による内容の変更となる可能性があります。
※2 Aグループ/Bグループに別々に分かれて1機機内を見学する機会に恵まれます。



エアライン 全日本空輸株式会社 (ANA) 定員 80名

SCHEDULE

9:00 集合・オープニング
成田空港第1ターミナル (ANA スカイセンター)

9:25 **Aグループ** ①②③④
◎チェックイン業務・アナウンス体験
◎荷物作業・フックアップ見学・出発機お見送り体験

12:30 昼食 (ANA オリジナル機内食)
ANA スカイセンター

13:15 ANAグループスタッフとの座談会等
ANA スカイセンター

14:05 **Aグループ** ①②③④
ランプ内周遊バスツアー
バスで機内設備を見学する機会、飛行機パイプ

15:35 クロージング
ANA スカイセンター

16:00 解散

※1 天候による内容の変更となる可能性があります。
※2 Aグループ/Bグループに別々に分かれて1機機内を見学する機会に恵まれます。

参加をご希望の方は裏面の注意事項をよくお読みいただき、お申込書にご記入の上、担当の先生に提出してください。

募集チラシ

- 募集人数 : 160名 (TOUR 1 [GPA+JAL] 80名、TOUR 2 [GPA+ANA] 80名)
- 申込者数 : 147名 (男性33名、女性109名、先生5名)
- 参加者数 : 133名 (男性32名、女性98名、先生3名)
- 参加高校数 : 24校 (公立20校、私立4校)

令和4年度初参加は7校。空港周辺9市町からは5校参加。

(1) ツアー 1 (GPA+JAL)

【実施日時】：令和 4 年 1 月 2 3 日 (水・祝) 9 時～1 6 時 3 0 分

【開催場所】：成田国際空港第 2 旅客ターミナルビル及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：2 3 校 7 7 名 (男性 1 4 名、女性 6 1 名、先生 2 名)

【当日のスケジュール】：グランドスタッフ業務紹介・体験 又は 航空機整備工場見学

→ ランプ内周遊ツアー → 出発機お見送り体験

→ 現役スタッフとの座談会



アナウンス体験の様子



航空機整備の業務紹介の様子



バスツアー中の出発機お見送り体験の様子



座談会の様子

(2) ツアー 2 (GPA+ANA)

【実施日時】：令和 4 年 1 月 2 7 日 (日) 9 時～1 6 時

【開催場所】：成田国際空港 (ANA スカイセンター) 及び空港内制限エリア

【参加費】：無料

【参加者数】：1 6 校 5 6 名 (男性 1 8 名、女性 3 7 名、先生 1 名)

【当日のスケジュール】：チェックイン・アナウンス業務紹介・体験 →

グランドハンドリング業務紹介 → 現役スタッフとの座談会

→ ランプ内周遊ツアー



チェックイン体験の様子



グランドハンドリング業務紹介の様子



座談会の様子



バスツアーの様子

5-4 合同企業説明会・空港見学会開催

人材不足が懸念されるグランドハンドリング会社等、空港内関連企業21社による合同企業説明会・空港見学会の後援として、当協議会の自治体会員等を通して開催の周知を図った。

実施日：令和5年2月6日（月）

場所：幕張メッセ 国際会議場2F 国際会議室

概要：空港内関連企業21社による合同企業説明会・空港見学会

（主催：成田国際空港株式会社、後援：千葉労働局、成田空港活用協議会）

参加企業：21社

入場者数：477名

成田空港で働きませんか？
成田空港
合同企業説明会・空港見学会
in 幕張メッセ

空港スタッフ大募集!!
年齢・性別・経験 不問
どなたでも
ご参加いただけます!

成田空港
関連企業
20社以上参加

2023年2月6日(月)

会場 幕張メッセ
国際会議場2F 国際会議室

時間 午前の部 10:00~12:00 (参加受付 9:30~)
午後の部 13:00~16:00 (参加受付 12:30~)

POINT1 空港見学会を開催!
POINT2 ご来場者特典!

【主催】成田国際空港株式会社
【後援】千葉労働局 成田空港活用協議会
お問い合わせ 成田空港合同企業説明会事務局 jobfair@gpa-net.too.jp



[協会員] 自治体会員 45会員

6 過去5年間の成果を更に拡大していく事業

6-1 県内観光情報・成田空港の魅力発信

WEB等を活用し、国内外に対する県内観光情報の効果的な発信及び地域における成田空港の魅力発信を行った。

【平成30年度】

外国人向けウェブマガジン「MATCHA」内の成田空港特集のウェブサイトにて、香港・台湾をメインターゲットとした多言語のWEB記事配信を行った。

テーマについては、平成29年度に協議会で実施したインバウンド周遊動向調査の内容をもとに決定し、平成31年1月28日から平成31年2月23日にかけて全4回に分けて配信した。

記事作成は、実際の台湾人の意見を取り入れて、外国人目線で見た魅力的なスポットについて取材を行い、台湾人ライターが作成した記事を8言語（日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語）に翻訳した。

また、作成した記事に対して、Facebook 広告を運用し、ターゲットに情報の拡散を行った。



成田空港から出発！海鮮、温泉、絶景を楽しむ千葉南房総への旅

千葉県 ©2019.01.28

☆お気に入り

成田空港到着後、直接東京へ出てしまう旅行者は多いかもしれません。一味違った旅程を楽しみたい人は、千葉県南部の「南房総」へ足を運んでみませんか？ 東京近郊とも言える南房総は、東京に住む人がレジャーに訪れる場所でもあります。南房総エリアの入り口まで、成田空港から電車で約2時間足らず。海鮮や秘湯など、都市部では体験できない観光スポットが多くあります。本記事を参考に、南房総を堪能してみてください！

翻訳者 Kunihisa



家族旅行なら成田空港からドライブがオススメ！子どもも楽しめる千葉の観光スポット

千葉県 ©2019.02.20

☆お気に入り

家族旅行、とくに子ども連れて旅行する際、重い荷物を持ち運ぶのは大変です。そんな時にはレンタカーでドライブ旅行がオススメ！この記事では、成田空港のある千葉県で、家族旅行にぴったりの観光スポットと宿泊施設を紹介します。レンタカーで遊びつくしましょう！

翻訳者 莉芳
ライター MATCHA-PR

※外国人向けウェブマガジン「MATCHA」について（平成31年4月現在）

- ・ターゲットユーザー国：台湾、タイ、香港等（全244の国・地域からアクセスあり）
- ・ターゲットユーザー年齢：20代～30代 属性：FIT（個人旅行者）
- ・メディア概要：PV(サイトの閲覧回数)：約6,264,000回/月
UU(サイトを訪れた人数)：約2,962,000人/月

【令和元年度】

前年同様、外国人向けウェブマガジン「MATCHA」内の成田空港特集のウェブサイトにて台湾をメインターゲットとした多言語のWEB記事配信を行った。

内容については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を目的に、競技開催地である千葉市及び一宮町の情報とし、令和元年12月26日及び令和2年1月7日に、記事を配信した。

MATCHA 旅先 旅の目的 日本旅行の基本情報 予約

千葉 観光

東京近郊のレジャースポット！千葉県・海浜幕張エリアでできる5つのこと



ライター MATCHA-PR
2019.12.26

♡ お気に入り

東京駅と成田空港のほぼ中間にある地域、海浜幕張エリア。スポーツ・文化・ITイベントなどのイベントに参加したり、ショッピングやスポーツ観戦をしたりなどさまざまな過ごし方が選べます。本記事では、海浜幕張エリアで楽しめることを紹介します。

MATCHA 旅先 旅の目的 日本旅行の基本情報 予約

千葉 観光

サーフィンのメッカ！東京五輪の開催地・千葉県一宮町の楽しみ方



ライター MATCHA-PR
2020.01.07

♡ お気に入り

2020年に行われる東京五輪で新たに採用された競技、サーフィン。夏の玄関口・成田空港のある千葉県の、一宮町にある「約1600年サーフィンビーチ」が会場です。一宮町は年間を通して多くのサーファーが訪れる波乗り町。海を中心とした町の楽しみ方を紹介します。

【令和2年度】

新型コロナウイルスの感染拡大によるインバウンドの落ち込みにより、実施見送り。

6-2 県内経済活性化セミナー（一部再掲）

県内経済の活性化に資するため、会員のニーズや時流等を踏まえたセミナー(県内経済活性化セミナー)を開催した。

【平成30年度】

(1) 第1回セミナー（5／25）

場 所：オークラ千葉ホテル 3階エリーゼ

内 容：周遊データを活用したインバウンドビジネスの成功戦略
～千葉県インバウンド周遊動向調査報告～

講 師：(株)ちばぎん総合研究所 調査部長 関寛之 氏

平成29年度に実施した「千葉県インバウンド周遊動向調査」の調査結果をもとに、インバウンドビジネスの成功戦略について提言した。

参加者：96団体(社)、132名



講演する関部長



セミナー会場の様子

(2) 第2回セミナー（6／4）(再掲)

場 所：千葉県東葛飾合同庁舎

内 容：①「首都圏における外環道の重要性・整備効果と今後の整備の展望等」

講師 国土交通省関東地方整備局道路部道路企画官 鈴木 通仁 氏

②「外環道の開通により期待する効果」

講師 松戸商工会議所専務理事 薄葉 博司 氏

③「最新鋭の物流施設展開と社会インフラ（高速道路・空港）の活用」

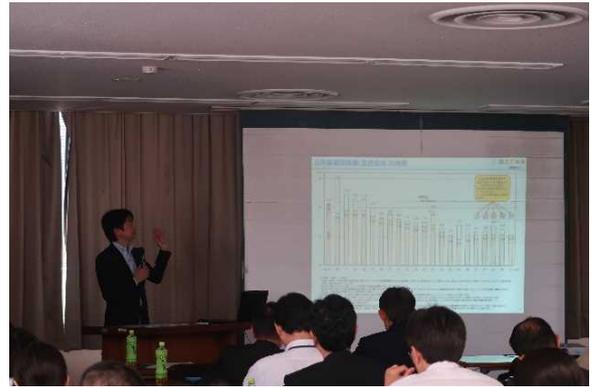
講師 プロロジス開発部部長 村上隆志 氏

参加者：38団体(社)、76名

平成30年6月2日に外環道三郷南IC－高谷JCT間が開通したことを受け、千葉県・成田空港と関東一円がより便利につながることの経済効果を考えるとともに、外環道との結合が予定されている北千葉道路の開通への期待感を醸成した。また、セミナー終了後、外環道体感バスツアーを実施し、開通したばかりの外環道松戸IC－高谷JCT間を実際に走行した。



主催者挨拶する水野参与



講演する国土交通省関東地方整備局の鈴木道路企画官

(3) 第3回セミナー (10/31)

場 所：京成ホテルミラマーレ 6階ローズルーム

内 容：成田空港から地方創生を考える～空港を活用して地域経済をどう伸ばすか～

講 師：(株)日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介 氏

日本及び地域の人口構造などを例に、統計データに基づいて現状を理解することが重要であり、その上で、千葉県が活かしていくべき地域資源など、これからの県内各地域の目指す方向性について提言をいただいた。

参加者：39団体(社) 87名



講演する藻谷氏



講演の様子

【令和元年度】

(1) 第1回セミナー（7/18）（再掲）

場 所：オークラ千葉ホテル 3階エリーゼ

内 容：①「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査」

講師（株）ちばぎん総合研究所調査部長 関 寛 之 氏

成田空港関連企業の雇用促進に向けたコンソーシアムの形成や雇用不足感が強まる業種・職種の「見える化」など5つの事項について提言いただいた。

②「アジア経済圏におけるマーケティング調査」

講師（株）JTB千葉支店支店長 藤川誠二 氏

（株）Fun Japan Communicationsディビジョンリーダー

安原暢郎 氏

千葉県の魅力をしっかり伝えれば外国人旅行者の訪千葉意向は高まることから「旅前の情報収集段階での認知向上施策の実施」及び「千葉県産品に触れる場・機会を設けること」について提言いただいた。

参加者：153名



講演する関部長



講演する藤川氏

(2) 第2回セミナー (3/18) (再掲 DMO養成塾第1回)

場 所：京成ホテルミラマーレ 6階 「ローズルーム」

内 容：「持続可能な地域経営に向けて何をすべきか」

生産年齢人口の減少により地域経済の後退が進む地域にとって、今後も地域として存続していくために必要な、地域経営のノウハウ、体制づくりなどについて、提言した。

講 師：JTIC, SWISS 代表 山田桂一郎 氏

(内閣官房地域活性化伝道師、観光カリスマ、観光庁「世界水準のDMOのあり方に関する検討会」委員)

参加者：37名



挨拶する水野参与



講演する山田氏

【令和2年度】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、セミナーは実施せず。

【令和3年度】

(1) 第1回セミナー (5/17)

場 所：TKPガーデンシティ千葉 3階シンフォニア

内 容：①CHIBA ビジコン 2020 成田空港活用協議会賞 受賞企業の紹介

講 師 株式会社さつまいもの石田農園 専務取締役 石田湧大 氏

②成田空港の更なる機能強化について

講 師 成田国際空港株式会社執行役員機能強化整備部長 竹村昌明 氏

③成田空港周辺地域における国家戦略特区の提案について

講 師 千葉県総合企画部空港地域振興課長 錦織良匡 氏

参加者：102名

(2) 第2回セミナー（2／1）（再掲）

場 所：新生成田市場

内 容：「圏央道全線開通による県内経済活性化への期待」

講 演：①圏央道全線開通による県内経済活性化への期待

講師 （株）ちばぎん総合研究所取締役会長 水野創 氏

②新生成田市場の開場による地域経済活性化効果

講師 成田市経済部卸売市場主幹 河野雅祐 氏

③新生成田市場に入所するメリットなどについて

講師 NAX JAPAN（株）取締役常務執行役員 佐藤啓仁 氏

視 察：①成田市卸売市場職員ご案内のもと市場内各施設を見学

②バス車中から圏央道の工事現場を見学

参加者：24団体 36名（コロナ感染対策として、人数を絞って実施）



市場視察(青果棟)の様子



講演する成田市卸売市場の河野主幹

(3) 第3回セミナー (3/8)

県南に成田国際空港から観光客を呼び込むためにセミナーを開催。

会 場：鴨川グランドホテル 白妙の間

内 容：①観光DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

講師 観光庁観光地域振興部観光資源課新コンテンツ開発推進室長

佐藤 司 氏

②オール千葉でおもてなし 一真の観光地づくりに向けてー

講師 千葉県商工労働部観光企画課オール千葉おもてなし推進班長 久保田隆志 氏

参加者：会場参加26名、オンライン参加32名



観光庁観光資源課 佐藤室長の講演



千葉県観光企画課 久保田班長の講演



意見交換 (小松部会長による進行)の様子



意見交換の様子

【令和4年度】

(1) 第1回セミナー(5/23)

団体・企業価値向上と持続的成長のため、近年ますます注目が高まる脱炭素の取組みについて、総会開催にあわせて「第1回県内経済活性化セミナー」を開催

場 所：TKPガーデンシティ千葉3F「シンフォニア」

講 演：

①持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた取組

講師 国土交通省 航空局 航空戦略室 カーボンニュートラル推進室
室長 岡 建典 氏

②成田空港における脱炭素化に向けた取組

講師 成田国際空港(株) 経営企画部門 経営計画部
サステナビリティ推進室 マネージャー 片岡 祥 氏

参加者：101名



セミナーの様子①



セミナーの様子②

(2) 第2回セミナー(1/26)(再掲)

場 所：柏の葉カンファレンスセンター

参加者：30名(A班13名、B班17名)

セミナー：①北千葉道路の整備と成田空港の機能強化による経済活性化

講師 参与 (株)ちばぎん総合研究所取締役社長 前田栄治 氏

②柏の葉スマートシティにおける産業集積について

講師 三井不動産(株)柏の葉街づくり推進部グループ長 吉崎典孝 氏

視 察：①スマートセンター

②まちの健康研究所 あ・し・た

③公共空間の整備状況(公道・AIカメラ・調整池)

④三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド

⑤三井リンクラボ柏の葉



講演する前田参与の様子



視察会場での吉崎様の様子

6-3 各地域が抱える課題等をとらえた取組

会員団体へのヒアリングを通じて、地域・市町村・県等の関係者が連携しながら、県内各地域が抱える課題等を話し合う場を設け、主体的な地域づくりに向けた機運醸成等を図った。

【令和3年度】

地域の抱える課題やその取組、協議会に望む事業等について、県内2地域で意見交換を行った。

(1) 地域ミーティングの開催

(ア) 夷隅地域ミーティング（10／13）

場 所：いすみ市役所

参加者：勝浦市、いすみ市、大多喜町、県夷隅地域振興事務所、
（株）ちばぎん総合研究所



ミーティングの様子

(イ) 安房地域ミーティング（10／27）

場 所：安房地域振興事務所

参加者：館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町、南房総市観光協会、
県安房地域振興事務所、（株）ちばぎん総合研究所



ミーティングの様子

(2) 地域課題の解決に向けたセミナーの開催 (3 / 8) (再掲)

地域ミーティングで出された、地域課題の解決の一助となるようなテーマを選び、セミナーを第3回県内経済活性化ビジネスセミナーとして開催し、課題解決に向けた意見交換も併せて行った。

(ア) 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー

①観光DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

講師 観光庁観光地域振興部観光資源課新コンテンツ開発推進室長 佐藤司 氏

②オール千葉でおもてなし 一真の観光地づくりに向けて

講師 千葉県商工労働部観光企画課オール千葉おもてなし推進班長 久保田隆志 氏

③意見交換

【令和4年度】

(1) 地域ミーティングの開催

地域の抱える課題やその取組、協議会に望む事業等について、東葛地域を加え、県内3地域で意見交換を行った。

(ア) 安房地域ミーティング (4 / 27、10:00~11:40)

場 所：安房地域振興事務所

参加者：館山市、鴨川市、南房総市、南房総市観光協会、県安房地域振興事務所、㈱ちばぎん総合研究所



ミーティングの様子

(イ) 夷隅地域ミーティング（4／27、14：40～16：10）

場 所：いすみ市役所

参加者：いすみ市、大多喜町、県夷隅地域振興事務所、(株)ちばぎん総合研究所



ミーティングの様子

(ウ) 東葛地域ミーティング（7／7）

場 所：東葛飾地域振興事務所

参加者：松戸市、柏市、我孫子市、鎌ヶ谷市、県東葛飾地域振興事務所、成田国際空港(株)、(株)ちばぎん総合研究所



ミーティングの様子

(2) 安房地域での事業（南房総モニターツアー開催）（2 / 1 1）

成田から安房地域へのインバウンドの誘客可能性を検討するため、南房総市観光協会が、成田・安房地域間に JR 東日本の「B.B.BASE」（自転車とともに移動できる電車）を走らせるモニターツアーを計画した。

協議会は、成田市及び成田市観光協会へ広報協力を依頼するとともに、県の「チーバくんパートナー」やエアラインの外国人乗務員等が当モニターツアーに参加するための参加費用や交通費等を助成し、インバウンド視点での意見・感想を事業実施者へ提供した。



ツアーチラシ



B.B.BASE 車両

(3) 夷隅地域での事業（観光コンテンツの開発及び実証事業の実施）

成田空港から夷隅地域へ国内外の観光客を呼び込むため、一般社団法人ツーリズムいすみへの委託により、観光コンテンツの開発及び実証事業を実施した。

当該事業の実施に当たり、協議会としては、1つの地域にとどまらない広域の観光コンテンツを造成するよう促した。

その成果として、自家用有償旅客運送を活用した成田空港発の3つのモデルコース（①チーズ工房と酒蔵巡り、②波の伊八の彫刻と城下町歴史散策、③いすみ鉄道と海辺でリトリート）を開発するとともに、これら3つのモデルコースから主要な要素を組み合わせ2日間に分けてモニターツアーを実施した。

6-4 空港利用促進 PR 等

新規就航等の時機を捉えたPRとして、会員及び就航先と連携し、空港利用促進や千葉県の魅力等を紹介するプロモーションを実施した。

【平成30年度】

(1) ジェットスター・ジャパン長崎線新規就航関連 (10/20~21)

9月6日のジェットスター・ジャパン成田ー長崎線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社及びジェットスター・ジャパン株式会社と連携し、長崎市で開催されたイベントにてプロモーションを実施した。

<プロモーション概要>

イベント名：KTN×FMの日 Lovefes 2018

会場：長崎水辺の森公園（長崎市）

内容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、抽選会の実施、チーバくんによるグリーティング及びステージイベント出演

来場者数：(PRブース)2,684人以上 ※PRブースで実施した抽選会の参加人数により集計

配布数：(パンフレット)2,000部 (参考)イベント全体来場者数：約16万人



PRブース



チーバくんによるグリーティング



PRブースに並ぶ来場者の列

(2) ジェットスター・ジャパン高知線新規就航関連 (3/9~10)

12月19日のジェットスター・ジャパン成田－高知線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社及びジェットスター・ジャパン株式会社と連携し、高知市で開催されたイベントにてプロモーションを実施した。

<プロモーション概要>

イベント名：土佐の「おきゃく」2019

会 場：高知市中央公園（高知市）

内 容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、抽選会の実施、チーバくんによるグリーティング、ステージでのPR

PRブース来場者数：1,799人以上（PRブースで実施した抽選会の参加人数により集計）

パンフレット配布数：2,000部



ブースでのプロモーションの様子



ステージPR



チーバくんによるグリーティング

【令和元年度】

8月1日のジェットスター・ジャパン成田－庄内線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社及びジェットスター・ジャパン株式会社と連携し、酒田市で開催されたイベントにてプロモーションを実施した。

<概要>

イベント名：酒田花火ショー

会場：最上川河川公園（酒田市）

内容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、
八街産落花生つかみどり

PRブース来場者数：約500人 ※PRブースで配布したパンフレット配布数にて集計

配布物：パンフレット約500セット、風船約500個

落花生約500名分、団扇約6,200枚

(参考)：イベント全体来場者数：約21.6万人



PRブース



ブースで渡した落花生や風船を持つ来場者



6-5 空港利用回復事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、航空需要が大きく落ち込む中、県内経済の回復のためには、いち早い空港利用者の回復が望まれることから、空港の利用回復の後押しを図るための事業を行った。

【令和2年度】

成田空港で国内線を運航する航空会社が、“安心して移動できる環境”の創出を目的に航空券販売オプションであるコロナ検査を実施する場合に、航空会社及び成田国際空港（株）とともにその費用の一部を負担する事業を実施した。

対象：Peach Aviation（株）

内容同社が運航する成田空港発の国内線全便を対象とし、フライト変更可能な料金プラン（バリューピーチ・フライトピーチ）を予約した者のうち、検査希望者に対し、無料で新型コロナウイルス郵送検査サポートオプションを提供した。

※期間中、補助対象となる検査サービスを展開していたのは、ピーチ1社。

【令和3年度】

国際線に先行して利用回復の兆しが見られる国内線について、成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等を各種の施策、媒体を通じてPRすることにより、県内をはじめとした需要を喚起し、空港の利用回復の後押しを図るべく、プロモーション活動を行った。

（1）成田空港の利用促進に向けたポスターの作成

成田空港の充実した国内線ネットワークをアピールするポスターを940枚作成し、県内の郵便局や銀行、市町村ほか活用協の全会員（計144団体）へ配布し、県内全域で展開してもらうことで幅広く浸透を図った。

・時期：令和4年3月末から随時掲示



・場所：県内郵便局（688局）、
会員金融機関（計186店）、
地域振興事務所等

(2) 交通機関へのラッピング広告の掲出

ポスターと同種の内容で、京成バス(株)のバス車両へのラッピング広告を掲出した。

- ・時 期：令和4年3月26日から1年間
- ・場 所：京成バス千葉営業所管内の路線を走行



ラッピング広告デザイン



(3) 旅行系フリーペーパーへのタイアップ記事の掲載

旅行好きな若い女性をターゲットにしたフリーペーパー「たびいじょ」へタイアップ記事「成田からひとり旅へ！はじめてのLCC活用術」を掲載し、LCCへの理解や興味を深めてもらうよう、成田空港に就航する国内線LCC各社の紹介や、LCC搭乗までの流れ、LCC就航地のおすすめスポット等を紹介した。



- ・ 配布時期
令和4年3月末から半年間
- ・ 配布場所
都内の大学や全国のゲストハウス、カフェ等ほか希望者へ無料配送
- ・ 発行部数 10,000部
「たびいじょ」ホームページで電子書籍としても公開。

(4) イベント等での配布を目的としたエコバッグの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのエコバッグ（トートバッグ）を2,000枚作成した。今後の協議会が関係するイベント等で資料やチラシ等を配る際に用いることとし、受け取ってもらいやすい形で配布することで、PR効果を高めていく。



バッグデザイン

【令和4年度】

(1) 成田空港国内線利用者向けプレゼントキャンペーン

成田空港周辺地域振興連絡協議会が主催する「成田空港国内線利用者向けプレゼントキャンペーン」に賞品を提供した。

キャンペーン期間：令和4年10月20日（木）～12月20日（火）

提供賞品：千葉県 welcome コース

- ①千葉県宿泊補助券（10,000円分） 10名様
- ②酒々井プレミアム・アウトレットお買い物券（5,000円分） 3名様
- ③鴨川シーワールド大人ペア入場券 3名様
- ④成田ゆめ牧場大人ペア入場券 3名様
- ⑤チーバくんグッズ詰め合わせ 3名様

The poster for the 'Fly Again! Campaign' features a central image of an airplane flying over a map of Japan. The text 'FLY AGAIN!' is prominently displayed in large, stylized letters. Below it, the campaign title '成田空港とつながる日本の旅 プレゼントキャンペーン!' is written. A yellow circular badge in the top right corner indicates the deadline '応募締切 12/20(火)'. The poster lists four prize categories: 'エアラウン コース' (21 prizes), 'Welcomeコース' (47 prizes), '成田空港周辺 Welcomeコース' (23 prizes), and '千葉県 Welcomeコース' (22 prizes). A 'Wチャンス!' section at the bottom highlights a special prize of 100,000 yen. The bottom half of the poster includes a map of Japan with flight routes and a QR code for more information.

(2) 「ちばアクアラインマラソン2022」へのエコバッグ(トートバッグ)の提供

「ちばアクアラインマラソン2022」において、大会スポンサーの成田国際空港(株)と連携を図りながら成田空港利用促進に繋がるPRを実施した。

日 時：令和4年11月6日(日) 9時30分～16時

場 所：アクアラインマラソン メインイベントエリア

《フルマラソン参加者ゴール地点(旧木更津市役所駐車場)》

内 容：エコバッグ(トートバッグ) 1,000枚 提供

成田空港ブースにおいて、協議会で作成した国内線PRデザインのパネルを設置し、成田国際空港(株)担当者と一緒にエコバッグ(トートバッグ)の配布を実施した。また、成田国際空港(株)で用意した「ゼッケン留め(NAA ロゴ入り)」をあわせて配布した。



ちばアクアラインマラソン2022

海を走ろう ～アクアラインの風によって～



活用協議会国内線PRデザイン

イベントの様子

(3) 成田空港の利用促進に向けたコピー用紙への紙面広告の掲載（タダコピ）

成田空港の充実した国内線ネットワークや利便性等をアピールする内容のコピー用紙（紙面広告）を作成し、全国の大学に設置してあるコピー機を通して幅広く浸透を図った。関連して、LINE 配信とアンケート調査を実施した。

利用媒体：大学生向け無料コピー・プリントサービス（タダコピ）

大学生向け公式LINE 配信（スマートキャンパス運営公式LINE）

実施時期：令和5年3月30日～5月15日

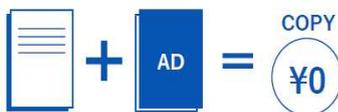
数量：コピー用紙 50,000枚（全国76大学86キャンパス）

LINE 配信 約19,000件（サークル・学生団体等のグループライン）

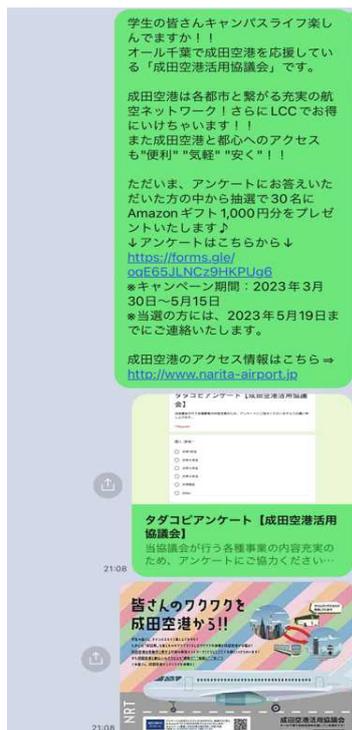
アンケート：旅行に関するアンケートを実施

（回答者には抽選で30名に Amazon ギフト1,000円分をプレゼント）

コピー用紙の裏面に広告を入れることで、
大学生のコピー料金を無料にするサービス。



コピー用紙デザイン



LINE 配信イメージ

(4) イベント等での配布を目的としたエコバッグ、パンチボールの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのエコバッグ（トートバッグ）1,000枚、お子様向けのパンチボール500個を作成した。今後の協議会が関係するイベント等で配布することで、PR効果を高めていく。



エコバッグ（コットン素材）



パンチボール（色は5色作成）

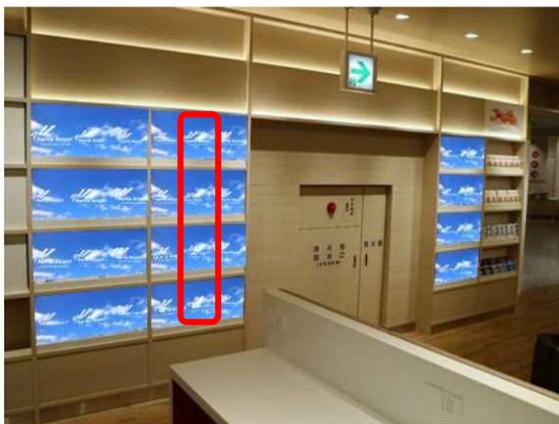
(5) 成田空港第1ターミナルビルパンフレットラックでのPR

緩和措置によるインバウンド需要に対応するため、訪日外国人を対象とした日本で提供されるサービス等が載っているパンフレットを成田空港内に置いて県内の魅力をPRした。

実施時期：令和5年1月～令和6年3月

掲出場所：成田空港第1ターミナル中央ビル1階

掲出実績：12会員（令和5年3月31日現在）



T1 中央ビル1F VSC 南側（一般エリア）



(6) 観光ショーケース

大阪で開催された「観光ショーケース」へ出展し、成田—大阪路線（関空・伊丹）利用による関西圏からの誘客を図った。また、出展に際しては、会員との連携を図り、観光ショーケースの直前（3/10～21）に大阪梅田で開催していた県の期間限定アンテナショップに観光ショーケースへの誘導チラシを設置する他、ガラガラ抽選会の賞品については、千葉県に関連したものに特化した。

なお、ブース内を装飾した撮影スポット用の背景写真、パンフレット及びガラガラ抽選会の参加賞の一部については、会員から提供を受けた。

実施日：令和5年3月24日(金)～26日(日)

場 所：インテックス大阪

内 容：

- (1) 来場者に対して成田空港の国内線利用実態のアンケートを実施し、回答者にはガラガラ抽選で千葉県に関連した賞品をプレゼントした。
- (2) 県内の景勝地等を組み合わせた撮影スポットを設置した。
- (3) 千葉の魅力を発見してもらうため、モニターでの動画放映とパンフレットラックを設置した。



誘導チラシ



抽選会案内パネル



撮影スポット用の背景



ブース内の様子



抽選会の様子①



抽選会の様子②



チーバくん登場時の様子

[協力会員] 29会員

1 3 基本的な取組

1 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備促進に関する要望

成田空港から生じる経済的な効果を県内はもとより首都圏に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であり、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と北千葉道路の一日も早い開通が不可欠であることから、これらの整備推進等について、県内関係2団体とともに国に対して要望活動を実施した。

(1) 実施日

平成30年11月20日

令和元年11月12日

令和2年11月12日

令和3年11月25日

令和4年11月24日

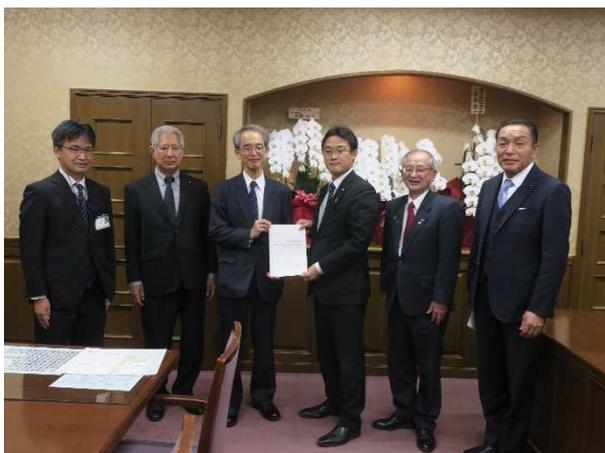
(2) 要望先

- ・財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官等
- ・国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官等
- ・県選出国會議員

(3) 同時に要望活動をした団体

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議



要望書を手渡す水野参与（令和3年度）

2 会員向け情報発信の強化(NEWS LETTERの配信)

協議会の活動内容を会員等に広く知ってもらうため、令和3年度から、「成田空港活用協議会NEWS LETTER」を随時発行した。

成田空港活用協議会NEWS LETTER No.1
2021.06.10

令和3年度総会の開催

令和3年度通常総会が、令和3年5月17日(月)にTKPガーデンシティ千葉において開催されました。総会では、「令和2年度の事業報告・収支決算」及び「令和3年度の事業計画・収支予算」の計4議案が上程され、いずれも賛成多数により、原案どおり可決となりました。

新型コロナウイルス感染症対策が求められる中で開催となりましたが、皆様のご協力によりスムーズ(予定時間内)に終えることができました。役員の皆様をはじめ、御協力いただいた全ての皆様改めて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた事業が中止・縮小されるなど、思うように事業展開できなかったところもありましたが、今年度は、協議会の目標である「成田空港を活用した千葉県経済の活性化」を念頭に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催状況や現状を踏まえつつ、必要性・合理性の認められる事業について、可能な限り展開を図ってまいります。

事業の実施にあたりましては、引き続き、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員が主体的に取り組むことができるよう、注力してまいりますので、是非協議会をご活用くださるようお願い申し上げます。



CHIBAビジコン2020受賞者

総会後のセミナーにおいて、第6回ちば起業家ビジネスプランコンペティション(09回)でビジコン2020成田空港活用協議会賞の受賞者である、順さつまいもの石田真由美氏に講演いただきました。

成田空港周辺は、サツマイモの県内最大の産地であり、今後、空港周辺地域の広域域の特産品開発・特色(魅力)づけや、食品加工・飲食・観光事業に対する付加価値向上等の波及効果に期待が持たれます。

しつとり感とスイーツのような味がいがりである「甘熟にはるか」など、同社の商品はオンラインストア等でも購入頂けますので、興味のある方は是非一度、ご賞味ください。

<https://satsumaimo-ishidanouen.com/>

成田空港活用協議会 担当：関根
ニュースレターに対するお問い合わせ先
TEL : 043-306-2411
MAIL : info@nt-promo.jp

航空商談会アフターフォロー

成田空港を起点とした新しいビジネス(取引)の実現を図るため、令和3年3月9日(火)にホテル日経成田にて「おいしい千葉と空の商談会2021」と題した商談会を開催したところです。

今後は、成約に向けた更なる後押し及びスキル(商品)の磨き上げ等を図るため、商談会参加者に対して、担当専門家(中小企業診断士)を通じてアフターフォローを実施してまいります。



事務局からひとこと

当協議会の活動状況を広くわかりやすくお伝えするため、不定期ではありますが、新たにニュースレターを発行する予定です。

活用協の取組はもちろんです、**会員の皆様様の活動などもご紹介させていただきますので、是非発信してもらいたいという情報がありましたら、事務局へお気軽にご連絡くださるようお願いいたします。**

第1号 令和3年6月発行

成田空港活用協議会NEWS LETTER No.2
2021.11.2

おいしい千葉と空の商談会2022冬の開催について

これまで当協議会では、成田空港を活用した新しいビジネス創出を促し、県内の企業・商店・生産者(サプライヤー)と空港関連企業(バイヤー)とを結ぶ「食品」に関する商談会を開催してきましたが、令和4年度も以下のとおり開催することとしました。

この商談会は、「日頃なかなか出せない空港関連企業との新たな販路を開拓する絶好の機会である」とともに、商談に不慣れな事業者にも安心して参加頂けるよう、専門家(中小企業診断士)による充実したフォローを実施します。

事務局としても、より多くの成約を目指し、また、参加者にとって今後に繋がる貴重な経験となるよう準備を進めてまいります。

(1)開催日:2022年11月18日(火)
(2)会場:ANAクラウンプラザホテル成田
(3)開催方法:コロナ対策を施したうえで、対面式での商談及び別室での商品展示を予定
(4)バイヤー:20社程度(航空事業者、ホテル・物販関係者等)
(5)サプライヤー:60社程度(県内の企業・商店・生産者)



北海道観光商談会の開催について

北海道から千葉県への「成田空港・LOGを利用した」来訪促進や旅行誘致等を図るとともに、コロナにより冷え込んだ観光業の回復を目指して、北海道の旅行会社(バイヤー)と県内観光事業者等(セラー)との商談会を開催します。

この商談会では、参加者の連携強化を図るため、LOG各社にも協力を頂いており、アフターコロナに向けた顧客発掘・商品開発にご活用いただける絶好の場となります。

県内観光の魅力を伝えられるよう事務局もしっかりとサポートしていきます。

(1)開催日 2021年11月17日(水)
(2)開催場 札幌 3Fロフトホール
(3)参加者 セラー:千葉県の観光事業者等
バイヤー:北海道の旅行会社
(4)内容 ●第1部
北海道の旅行会社と千葉県の観光事業者等との商談
●第2部
航空会社 (Peach Aviation 関、ジェットスター ジャパン 橋本)によるプレゼンテーション
千葉県参加者によるプレゼンテーション

新生成田市場に関するセミナー

成田市では、来年1月に、開業から47年経過し老朽化が進む「成田市公設地方卸売市場」を移転し、成田空港の隣接地に新たな卸売市場を開業します。

新生成田市場では従来の卸売機能に加え、農水産物輸出を支援する機能(輸出手続きのワンストップ化等)を備え、成田空港を活用した日本の農水産物の輸出拠点となることを目指しています。

新生成田市場の開業や空港周辺の交通インフラ整備が着々と進展している状況踏まえ、現在、会員団体向けのセミナーを準備していますので、詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきます。



来年1月に開業する新生成田市場のイメージ(成田市提供)

第2号 令和3年11月発行

・ブックナンバー

発行日	内容
NO.1 令和3年6月10日	令和3年度総会、CHIBAビジコン2020等
NO.2 令和3年11月2日	航空商談会2022冬、北海道観光商談会等
NO.3 令和3年12月10日	地域ミーティング、要望書提出等
NO.4 令和4年3月9日	第2回ビジネスセミナー、日本遺産等活用誘客モニターツアー等
NO.5 令和4年4月21日	体験型航空教室、DMO養成塾報告会、第3回ビジネスセミナー
NO.6 令和4年6月3日	令和4年度総会、第1回ビジネスセミナー
NO.7 令和4年8月5日	航空商談会2022秋、高等学校における出張授業
NO.8 令和4年12月2日	第2回ビジネスセミナー、脱炭素社会推進支援事業等
NO.9 令和5年1月11日	東京2020大会のレガシーの活用、要望書提出等
NO.10 令和5年1月16日	高等学校における出張授業、ランドオペレーターとの商談会
NO.11 令和5年3月31日	体験型航空教室

